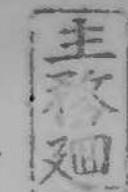


(京都府経由) 案

番號



京神急行電鐵株式會社
大正十四年三月二十三日附申 請鐵
道敷設一件聽居ヶ難シ
外三十一名
年月日
大臣

理由

本令頒給ハ京都神戸間、短縮輸送ヲ目的トスル
モノ十九瓦者経由他、鉄道軌道ニ及木ノ影響、大ナル
ノ三十瓦目下、交通状態ニ於テ急施、要請ト
難キニヨリ、何事一通却下可矣

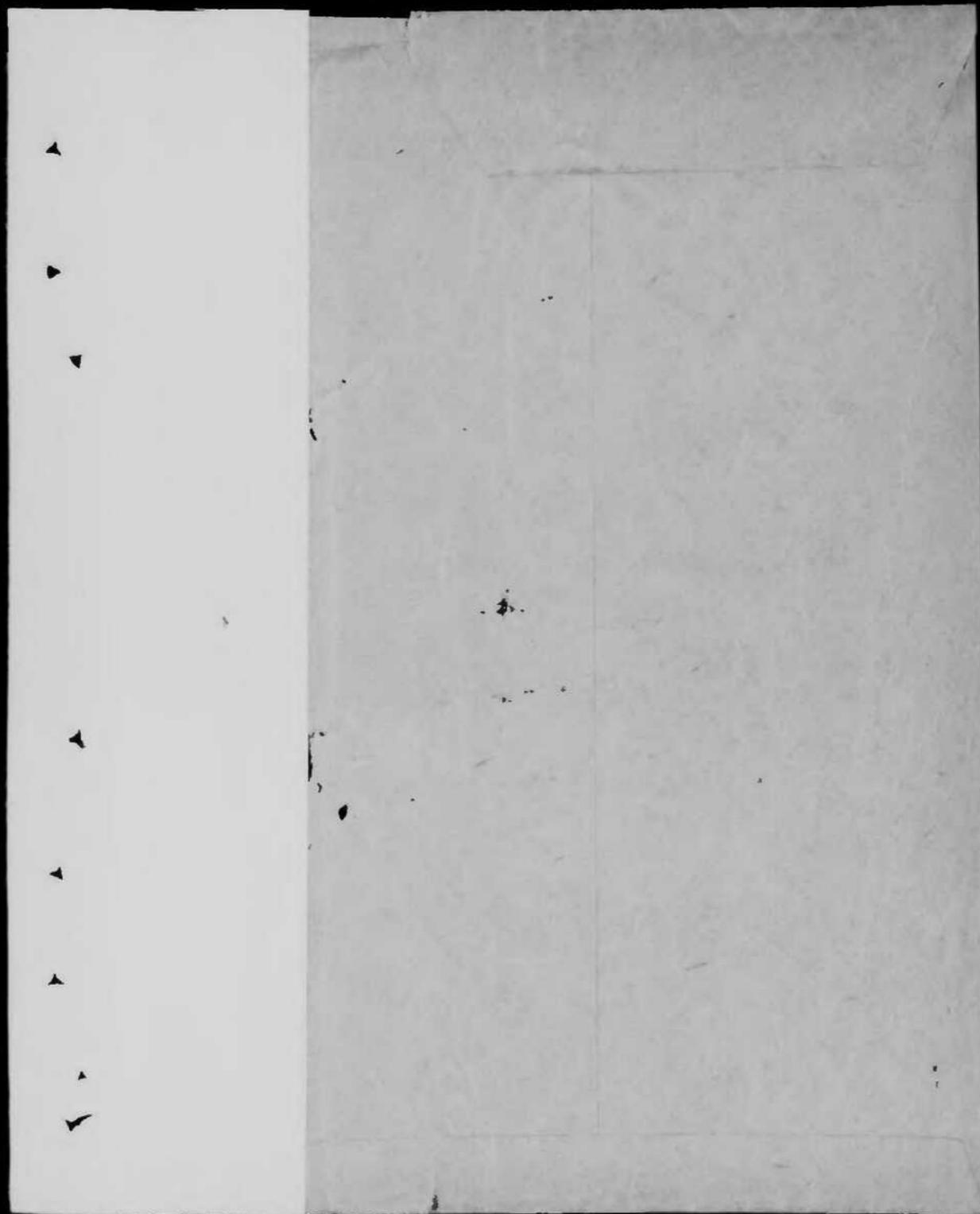
京神奈川

出願線記入圖

及有錦影響調(約半分)



234



封筒在中物

裏面白紙

(丙)

鐵道省

54

京神急行電鉄三省線、影響

同電鉄完成、既存有線、被以打擊、大
体別紙計算、計一十五万円程度、上記大約

京神急行電鉄、三省線、影響

(原田鉄)

封筒在中物

裏面あり

鐵道省

(五) 京都 (大正十三年後續)

西宮 12,574人 36.0 452,664m²
芦屋 12,664 38.5 487,564
住吉 20,653 41.3 852,969
灘 15,639 44.1 689,680
三宮 75,416 46.1 4398,678
神戸 142,267 47.1 6700,776
兵庫 34,532 48.2 1664,442

北道 X 333,745 + 2 = 667,490 北道
15,246,773 × 2 = 30,493,546 X 2 609,871 m²
1829人

(第三回)

55

封
筒
在
中
物

市神多子

裏面あり

出願保路圖別紙三席記入

大正十四年二月十三日出願

大正十五年九月廿一日受付

京神馬行鐵株式會社

委託人

南春吉印

(一石五七山邑太三郎)

右告

代

達川作

九二十二名

京都市下京区烏丸通塩川路
西成郡、北庫孙川近印、武庫印西瀬村

神戸市坂口通一千四百

電車

軌間

四呎八寸半

新設軌道

道路上

關係
ト
鐵道網

監督局長
總務課長
業務課長

監督局
總務課
業務課

考 備	發 起 人	事 知 副申ノ 要旨
資本金又 小額出資	南喜云印 森田作。出本之中、井上辰治、福井ひ三、小川栄次郎、井伊義重、井伊光 松岡三恵、植村平一、外 松井作。御 本件は京都府及神戸市都市計画上至大關係アル事以テ 免許前都市計画寫真御及兵庫地方委員會へ諮詢セラ度	本件經第ハ年中向後考究、其輸送シ最短距離、又其輸送時 間が良き事不以爲主通ノ利便り増進レ本正當ハ時宜 高シ被其效果ナ摩サ得シト被認シ候可並種種未盡 カ太陽社、兵庫物而知第一及至御都長善久、別頭山通 又始終併トシテ此種修造歩道併及桜尾崎電気株式會社 監督局

四土 第二〇三

大正十五年九月二十一日

京都府知事池田宏

鐵道大臣子爵井上匡四郎殿

京神急行電鐵敷設免許申請

開示件副申

京神急行電鐵株式會社發起人南
喜三郎外二十二名申請標記件調查
候處方ハ京都、神戸兩都市間、運輸交
通、利便ヲ増進シ且兩都市、產業ノ進
展ニ資スル著大ナル事業ト相認候條
款

東都府

可為御詮議相成度別紙調査書添付
方及副申候也



調査書

一、申請者、資産及信用程度

別紙調書、通ニシテ何レ々相當、資産及信用ヲ有ス。

二、事業、成否

京都、神戸間、貨客、輸送ヲ最短距離ニ又其ノ輸送時ラ最少限度ニ短縮シ以テ一般運輸交通、利便ヲ増進セントスル本企畫ハ時宜ニ適セルモノト認ム

本路線中大阪府、兵庫縣管内、於テ一部競願又ハ既設國有鐵道及大正十五年八月二十六日監第一九九五號ヲ以テ工事施行認可、新京阪電氣鐵道ト併行スル箇所ナキニアラナル、自其、目的トスヘ地点ヲ異ニセル關係上相互ニ大ル影響ヲ來サバク、殊ニ貨客、收容、對シ抱擁力ヲ有スル京都、神戸、兩都市間

京 都 府

=腐ス利便著大ニシテ本企業ハ確實性ヲ有シ豫期、成果ヲ擧ケ得ルモノト認ム

三、事業、効用

京都市及神戸市、產業、進展上其、効用最大ナリト認ム

四、他、鐵道又ハ軌道、及水、影響

國有鐵道東海道線及新京阪鐵道、阪神急行電鐵ニ對シ多少、打撃ヲ此ノヘキニ特ニ記スヘキ程度、影響ニアラナルト認ム

五、他、鐵道又ハ軌道、競顧アルトキハ其、鐵道又ハ軌道、名稱及申請書受付年月日

申 請 者	區 間	願書受理年月日	摘要
北摂鐵道株式會社 人川端信治郎外二十九名	自大阪府三島郡萬根町 至大阪府豐能郡治田町	大正十二年三月十三日 大 阪 府 受 附	大正十二年五月八日審定

寶塚・尼崎電氣鐵道
株式會社

白兵庫縣 西宮市
大阪府 神崎郡 加賀村

大正十四年六月十六日
兵庫縣受附

六、其ノ他必要ト認ムル事項

1、本件ハ京都市及神戸市都市計畫上至大關係アルヲ
以テ免許前都市計畫京都及兵庫地方委員會へ諮詢

セラレタシ

2、免許、場合ハ左、條件ヲ附セラレタシ

(1) 起点ヨリ一哩二分一一至ハ區間ハ高架又地下構造トナス
コト

但高架構造トナストキハ八條通以南十條通附近ニ至
ル間、線路ハ京都市在來、街路割、方向、順應ス
ルコト(別図参照)

京 都 府

(2) 神戸市内ニ於ケル道路横過ハ平面交叉ヲ避ケルコト但
高架式ニ依ル場合ハ一徑間ヲ道路ヲ横過スルコト

(3) 神戸市郡界以東神戸都市計畫區域内ニ於ケル線
路、位置ヲ山地部ニ變更シ都市計畫道路網、交叉ハ
高架構造トナスコト

(3) 大阪府及兵庫縣知事並神戸、京都市長、意見別
紙寫、通

以上

会員名	職業	年齢	性別	戸籍
内山 明治 上野 朝日 高野 伸鈴 鶴巣 錦之助 大庭 厚一 代議士	素職 動産取引 直接貿易 信用程度 不動産等 収入年額 書類	六十五歳 六十一歳 四十七歳 五十六歳 五十一歳 三十歳	女 女	立派戸主 翁年 妻主
高橋 仲太郎 吉川 伸銅 井手 伸 佐藤 金蔵 高野 伸 佐藤 伸	染料 染料 染料 金葉 金葉 金葉	三十六歳 三十九歳 三十五歳 三十六歳 四十一歳 三十歳	男 男 男 女 女 男	明治 明治 明治 大正 大正 大正
高木 鍾七郎 高橋 伸 高野 伸 佐藤 伸 大庭 厚一 内山 明治 上野 朝日 高野 伸鈴 鶴巣 錦之助 大庭 厚一 代議士	四〇〇四 二四八〇 二五六九 三 厚レ 普通 厚レ 普通 相當弱	一〇〇九 一〇〇〇 一〇〇〇 一〇〇〇 一〇〇〇 一〇〇〇 一〇〇〇 一〇〇〇 一〇〇〇 一〇〇〇 一〇〇〇	男 男 男 男 男 女 女 女 女 男 男	新井 政 中村 稔 伊藤 謙 佐藤 健次郎 川橋 喜次郎 高橋 三郎 井上 勝 大庭 勝 佐藤 勝 大庭 勝 内山 明治 上野 朝日 高野 伸鈴 鶴巣 錦之助 大庭 厚一 代議士
会員名	職業	年齢	性別	戸籍

土堀第三四三號

大正四年十月五日

京都市長安田耕之助印

京都府内務部長森岡一朗殿

京神急行電氣鐵道敷設免許申請二件
大阪府南喜三郎外十二名起人、申請係儿京都市下
京區烏丸通塩小路ノ起點ト元電氣鐵道敷設件二件
御内示相成候處左記依り御處理煩度一件書類及
返戻候也

京都府

記

一、鉄道、起點ハ塩小路通西洞院以西トスルコト

二、八條通以南加茂川ニ至ル區間、線路方向ヲ本市在来、街割
方面（約南北）ニ順應シ変更スルコト

但ニ地下線、場合、此、限りアラス

三、鐵道、起點ニ於ル建設物ト市道道路トノ間ニ二十米以上、空地
存セシムルコト

四、京都市、行政區域内ニ於ル路線ハ閉床式高架又ハ地下構造
トニ道路、交通ニ障害ナカラシムコト

五、前記ニ依リ、閉床式高架構造ヲ採用スルトキ附近住民保安、鳥ソ
工作物外端ト左右人家ト一間一幅員四米以上、空地ヲ存セシムルコト
六、前各項ニ依ル工事施行ノ為メ現在道路其ノ他市官造物、
前名項ニ依ル工事施行ノ為メ現在道路其ノ他市官造物、

京 都 府

構造ヲ変更スル件要アル場合、總テ會社ヲシテ施行セシムルコト

七、本路線、地下ニ現存シス、將來埋設スヘキ金屬管、電氣分
解ヲ避ケル爲ノ必要在保護工事、總テ經營者ヲシテ施行
セシムルコト

八、本線路建設、爲メ行フ一切、工事、設計ハ所管官廳、許
可又、認可ヲ受ケルニ先ナ豫ノ京都府長、承認ヲ受ケレム
ルコト

土合第二五五號

大正十四年九月二日

大阪府知事

京都府知事

地方鐵道敷設出願一覽ノ件 回答

本年四月十六日四上第二〇三一號ノ以テ京神急行電鐵株式會社起人南喜三郎外二十二名出願標記一件ニ關シ御商議、趣旨承當應、意見左記通り有立候條可然御取計相成度及回答候也

記

申請者、資產及信用程度

京都府

本府管内居住、申請人、資力、信用程度等ハ別記通り
ニ申葉、成否及効用

牛額ノ主トニ京都、神戸間、交通運輸ノ目的トセルニニテ即
一幹線ヲ以テ最短距離ニ兩市連絡、途ヲ折カムトスル計
畫ニ有之兩市間、交通上ニ齊ニ利便大志ハ勿論也。本府
地皮ニ於テ線路ヲ極力ナ僻陬、地ヲ経過ニ而ニ之罕沿線
ハ處ニ至る、見込ニ乞ニ地域ニ有之殊ニ牛額ハ大阪市ト
何等、連絡ヲ有セス、由未大阪ハ関西ニ於テ交通、中心
ニシテ以西及以東、交通ハ自ラ夫ノ其ノ系統ヲニ分セラル、感
アリ斯ル實情ニ稽ニ開業、初期ニ於テ所期ノ業績ヲ舉
ケ得ルト困難ナラムモ將來ニ於テハ有志ニ企業ト認ムル、
尤ニ高櫻附近及西宮附近ニ於テ新京阪鐵道及阪神
急行電鉄ト首尾、聯絡ヲ有セシムニ於テ兩餘、區間ハ

之ヲ除クモ同一目的ヲ達シ得ラルモノト被認

三他、鐵道又軌道ニ及ホス影響

國有鐵道東海道線ニ始ム新京阪鐵道及阪神急行電
鐵神戸線等ニ對シ多少ノ打撓事アリハ明ルモノ別段特記ス
ナ程度ニ元非尤ミト認ム

四起業、競願

競願係ル出願別表、通ニシテ北攝鐵道會社發起人申請
及寶塚尼崎電氣鐵道會社申請、地方鐵道及本願ハ
線路一部極メテ接近併行シ殊ニ後者ト本願、如キハ其
目的ノ同フセルモノニ有ニ寧口之等三者ハ合同リ上更ニ適當
計畫ヲ樹ツルノ妥當ト認ム

以 上

京 都 府

競 賴 調 書	出 賴 者	區 間	願書受理	履理經過	摘要
北播銀道株式会社 在起人川端佳治却外名	自足阪市島郡高櫻町 至三豐郡池田町	大正二年三月十三日	大正三年五月廿六日 十六号以降追達	大正三年五月廿六日 十六号以降追達	本願
宝塚尼崎電氣鐵道 株式會社	自兵庫縣西宮市 至姫路市三島郡相生村	大正四年正月十六日	調査中	兵庫縣於處理	
京神急行電鐵株式會社 起人南喜三郎外二十二名	自京都市下京區鳥丸之東 至神奈希坂口通一千目	大正四年三月廿三日			

兵主第ニニ九八號四

大正十四年八月二十五日

兵庫縣知事

印

京都府知事殿

京都神戸間鐵道敷設一件

四月十六日附四土第ニニ九號ヲ以テ京神急行電鐵株式會社
起人南喜三郎外十二名申請標記一件御商議有之候
處當廳意見左記一通ノ二條御了知相成度

追々本件都市計畫上至大關係有之候行都市計畫兵
庫地方委員會一諮問セラル、様致度尙本件二件目下神戸
市、詔問中ニテ於九月中答申、見止ニ有之答申、其

京都府

貴廳ノ經當族答申書主務省提出可致候所照

書御進達、際、其一旨附記相成度

記

一、起人中本縣下ニ在住凡者、資產及信用程度

別紙身元調書一通

二、事業、効用

本縣下ニ屬凡部分、線路ノ其ノ大部分阪神間連絡線中
最々山側ノ通阪神急行電鐵會社神戸、大阪線近接
併行ニ更ニ其ノ山側ノ通ルセニ有之而レテ阪神急行電
鐵會社於テ神戸御影間複々線ト烏ス、計畫アリ尚
同線ニ於テ乗合客、状況阪神阪急各會社線路、配
置並本出願線、位置等ニ考慮ヲ致セバ本縣下ニ屬凡

二府大當分今一線ヲ増設スル、要無之様被認候尤ニ神戸
京都兩都市、連結機関トシテ、方面ヲ見ルト共、兩都
市相互間、運輸時間ヲ著レク短縮スルコトヲ得ル、利アル

モノト相認候

三、事業ノ成否

線路經過地中六摩耶、鍋塚鐵道會社第二明線ヲニ所
六甲越有馬鐵道線阪神急行電鐵會社甲陽支線攝津
電氣軌道會社線阪神急行電鐵會社西宮寶塚線寶
塚尼崎電氣鐵道會社線阪神急行電鐵會社伊丹寶
塚線及能勢電氣軌道會社伊丹延長線ヲ横断スル
外武庫川其他、河川十横過セサヘカラ花等多難建設

貴要乞之ト認候

四、他、鐵道又、軌道ニ及木々影響

京 都 府

有線鐵道京都神户間及阪神急行電鐵會社、神戸
阪神相當打擊ノ興ルニト相認候

五、他、鐵道又、軌道ト、競願關係

本年六月十六日當廳受理寶塚尼崎電氣鐵道株式會
社申請(別紙圖面通)、西宮富田間鐵道敷設計畫
ト競願關係アリ右ノ目下當廳ニ於ケ調査中ニ屬レ不
進達、見込ニ有之

44-2038
京都府
大正15.2.27受付

兵庫主事第二二九八號三

大正十五年二月二十六日

兵庫縣知事

京都府知事啟

京都神戸間鉄道敷設二萬三千件

標記、件御商議ニ對シ客年八月廿五日付兵土第2298
號四ヲ以テ意見及回答置候處右回答追書記載神戸市
意見別紙、通答申候付ハ主勢大臣、進達方可然御
取計相成度

京 都 府

土丙第七五一九號、二

大正十五年二月廿日

神戸市長 黒瀬弘志

兵庫縣内務部長八木林作殿

京都神戸間鐵道敷設一件

大正十四年八月二十五日兵士第二ニ九八號四ヲ以テ京神急行電鐵株式會社發起人南喜三郎外二十名ヨリ標記申請ニ關スル御照會、件有ハ本市東部發展上重大ナル關係有之本市會、意見ヲモ徵シ候處免許ニ左記條件ヲ附セラレ尚工事施行ニ關シ豫々市長、承認ヲ得タル設計ニ依リ施行認可、申請ヲ為サシヨラルニ於テ支障等之御因付ニ係ル一件書類相添ヘ此段及回答候也

記

京 都 府

- 一、道路ト鉄道ト、平面交叉ヲ避ケルコト但シ高架式、依ル場合ハ一徑間リ以テ道路、横断ニ路面上其、桥下迄五メートル以上トシ尚地下線、場合ハ充分、深度、保フシムコト
- 二、改口通一丁目、終点ハ本市営電車ト、聯絡ヲ保ナ其、停留所前六充分ナル廣場ヲ設ケ完全ナル設備トナスコト
- 三、将来市ニ於テ道路溝渠等、新設又ハ改修、場合ハ會社費用ヲ以テ之ニ適應スル施設ヲ為ス事
- 四、実施設計其他詳細ナル事項ニ關シハ更ニ市長ト協議スルコト
- 五、市都界以東神戸都市計畫已域ニ於テ鐵道線道、位置ニ小地部ニ変更シ近、決定セラルヘキ都市計畫道路網ト、平面交叉ヲ避ケ高架線ト為ス場合ハ其、兩側ニ各六メートル以上、鋪裝セし道路ヲ築造シ尚風致、保ナ砂防設備ヲ完全ニスルコト。

以上

京都神戸間
鐵道敷設免許申請書

京神急行電鉄株式會社

42-2038
大正14年3月23日

31

鐵道敷設免許申請書
今般別紙ノ通リ京都神戸間ニ電氣鐵道ヲ敷設シ一般旅客及貨物、運輸業ヲ營ミ度地方鐵道施行細則ニ基キ尤記圖書類添付し願致候間御許可被成下度此段奉願上候也

尤記

一起業目論見書

一建設費概算書

一運輸營業上ノ收支概算書

一運輸數量表

一假定款

一線路豫測平面圖
一線路豫測縱斷面圖

以上

大正拾四年三月二十三日

京神急行電鐵株式會社發起人

大正拾四年三月二十三日
南 喜 三郎

大正拾四年三月二十三日
平 井 木 不 人

大正拾四年三月二十三日
大陽第西電鐵南迴五百四萬圓

大正拾四年三月二十三日
泉 仁 三郎

北濱三(大平屋製)

增山康次

大阪市住吉蒲原町八番地

木村龍次郎

兵庫縣尼崎市西林大字小庄字加茂津五之一

堀田龍次郎

大阪市南区塙河通御前塙肇

木村孝之

大阪市住高麗橋五百五番地

福井喜三

大阪市住之二番地左一號

山口幸左右

大阪市住北中條通三丁目三番地

山口幸左右門

大阪市住高麗橋五百五番地

林治作

加藤武左右門

大阪市住高麗橋五百五番地

井上印

不善一郎

大阪市住高麗橋五百五番地

兵庫縣尼崎市東崎町東峰四番地

山邑太三郎

神戸市中山手通六丁目

二十番地

北濱三 大平屋製

大阪市西区木津川町二丁目九番地

大石洋三

大石洋三

京都市上京区東洞院通御池上舟町

井前信 沙之助

井前信

沙之助

京都府京都市左京区三条通白梅町入

五条東町中五番地

森田 信

森田

京都市上京区東洞院通御池上舟町

森田 信

森田

京都市下京区三条通御池上舟町

森田 信

森田

京都市下京区三条通御池上舟町

森田 信

森田

京都市下京区三条通御池上舟町

森田 信

森田

京都市下京区三条通御池上舟町

森田 信

森田

鐵道大臣 仙石貢殿

起業目論見書

一 目的

(1) 本會社ハ地方鐵道法ニ準據シ京都神戸間ニ電氣鐵道ヲ敷設シ一般旅客貨物ノ運輸業ヲ營ムモノトス

即チ距離ニ於テハ現在大阪迂回線（省線及私設電氣鐵道）ニ比シ約拾哩ヲ短縮シ交通時間ニ於テハ約二分ノ一ヲ節減シ以テ京神間運輸交通ニ於テ國民經濟上多大ノ便益シ圖ラントス

(2) 前項ノ附帶事業トシテ土地賣買賃貸

家屋，建築賣買賃貸娛樂機關，建設等ノ經營其他右ニ關スル一切ノ事業ヲ營ムモノトス

一 商號

本會社ハ京神急行電鐵株式會社ト稱ス本會社ハ本社ヲ京都市ニ設置ス

一本會社事業ニ要スル資本金，總額及

其資方法

本會社ノ資本金ハ金貳仟萬圓ニシテ株式組織トシ四拾萬株ニ分ナ壹株ノ金額ヲ五拾圓トシ之レヲ以テ事業ニ要スル資金トス

一線路、起終点及其経過スベキ主ナル市

町村名

京都市下京正鳥丸通世赤塩小路

経過市町村名

京都府紀伊郡上鳥羽村

乙訓郡久我村、羽乘師村、新神足村

大阪府三島郡五領村、盤手村、高槻町、清水

村、大川村、阿武野村、安威村
三島村、福井村、豊川村、山田

村

豊能郡萱野村、箕面村、櫻井谷村、北

豊島村

西成郡神津村、

兵庫縣川邊郡伊丹町、稻野村

武庫郡武庫村、瓦木村、芝村、西宮

町、大社村、精道村、木山村住

吉村、六甲村、西灘村、

終点

神戸市坂口通二丁目

一軌間及運轉方法

線路ノ軌間ハ四咫八吋ニ一分ノニシテ複

線運轉トス

一動力

電氣ヲ動力トシ宇治川電氣株式會社ヨリ

リ供給ヲ受ルモノトス、契約書等添付、
電氣鐵道方式ハ直流架空複線式トシ電
車線電壓ハ一千五百「」ボルトトス

字

契約書

京神急行電鐵株式會社發起人總代南喜三郎（以下甲ト稱ス）ト
宇治川電氣株式會社（以下乙ト稱ス）トノ間ニ電力需給ニ關シ
左ノ條項ヲ契約ス

第壹條 甲乙双方設備完了ノ日ヨリ乙ハ最大電力參千「キロワ
ツト」テ壹萬「ヴォルト」乃至壹萬壹千「ヴォルト」ノ電
壓ヲ以テ六拾「サイクル」ノ三相交流式ニ依リ兵庫縣武庫
郡西灘村五七ニ於ケル乙ノ神戸變電所ニ於テ毎日貳拾四時
間ヲ通シ甲ニ供給スルモノトス

第貳條 甲ハ前條ニ依リ供給ヲ受クル電力ヲ甲ノ電氣鐵道運輸
用動力トシテ使用スルモノトス

第參條 甲ノ使用電力量ハ第壹條乙ノ變電所特別高壓送電線引
出口ニ設置スル乙ノ積算電力計ニ據リ毎月末日之レヲ計算
シ甲ハ其使用電力量ニ對シ乙所定ノ料金率ヲ乘シタル電力

料金ヲ翌月拾日迄ニ乙ニ支拂フモノトス

第四條 送電上ノ責任分界點ハ第壹條乙ノ變電所特別高壓送電
線引出口ニ設置スル油入開閉器トシ該開閉器迄ハ乙ニ於テ
其他ハ甲ニ於テ其責任ヲ負擔スルモノトス

第五條 前條責任分界點迄ノ電氣工事（油入開閉器ヲ含ム）ハ
乙ニ於テ責任分界點以後ノ電氣工事ハ總テ甲ニ於テ負擔施
設スルモノトス

第六條 本契約ニ記載ナキ事項ニ付テハ總テ乙カ一般需用者ニ
對シ規定スル電力販賣規約ニ據ルモノトス

第七條 本契約ノ效力ハ本契約ニ依リ電力ノ需給ヲ開始シタル
日ヨリ滿五ヶ年トス

本契約期間滿了後甲乙孰レカ一方ニ於テ引續キ電力需給繼
續ノ意志ヲ表示シタル場合ハ更ニ協定ヲ經テ本契約ノ效力
ヲ伸張スルコトヲ得ルモノトス

第八條 本契約ハ甲乙兩者ニ於テ其實施上必要ナル官斷ノ許可又ハ認可ヲ得ルコト能ハサル場合ニ於テハ其效力ヲ失フモノトス

第九條 本契約有效期間内ニ於テ甲乙兩者ノ一方カ其事業ヲ他ニ譲渡スル場合ニ於テハ當事者ノ一方ハ譲受人ヲシテ本契約ヲ繼承セシムルモノトス

右契約條項ノ正確ヲ證スル爲メ本書貳通ヲ作成シ各其覺通ヲ領有スルモノトス

大正拾四年參月拾八日

京神急行電鐵株式會社

代表人總代 常吉三郎

宇治川電氣株式會社

常務取締役 影山銑三郎

算定號様式

京都神戸間建設費概算書
延長、麥塔八哩八分
官府進行費銀

項	數	量	單位	算	金	額	概	要
測量及路修費	32	8	哩	12,000,000	271,600,000			
用 地 費	1,255	000	公頃	2,500,000	3,132,500,000			
土 工 費	385,000,000	0	11	12,000	4,620,000,000			
橋 架 費	4324,000		延哩	500,000	2,262,000,000			
軌 道 費	40,000	0	哩	30,000,000	1,860,000,000			
停車場 費	12	0	箇所	1,500,000	18,000,000			
車輛費	20,000	0	哩	3,000,000	60,000,000			
諸建物費	35,8	0	哩	15,000,000	525,000,000			
通信線路費	10,0	0	哩	10,000,000	100,000,000			
電力線路費	10,0	0	哩	15,000,000	150,000,000			
變電所費	6,000	000	1000	100,000	600,000,000			
總 保 費	38	8	哩	5,000,000	190,000,000			
隊備費					4,010,000,000			
合 呈 計					4,010,000,000			
合 號 計					5,150,000,000			

統計號樣式

營業收支概算書

期間、四月八日二分、一
區間、京都、神戶

動力、電氣
延長、參拾八哩八分

京神急行汽船

	數量、金額、割合	摘要
旅客收入	101,966,400	虎日運輸費百零六拾五日
一日一哩當	2,628,000	走車平均客百拾人以上
貨物收入	991,340	虎日運輸費七哩以上
一日一哩當	25,550	走車平均客七哩以上
旅客收入	3,058,992.000	3錢/mile/mile
一日一哩當	788,400.000	
貨物收入	2,160.000	
一日一哩當	148,701.000	15錢/mile/mile
雜收入	3,832.500	
一日一哩當	10.500	
收入合計	25,100.000	廣告44.澳兩等
營業費用	3,222,693.000	
一日一哩當	2,28.265	
營業金	1,203,770.000	
建設費	85.000	
建坡費	2,023,423.000	
建設費、對外營金割合	1.02%	

第參號様式

京都神戸間運輸數量表

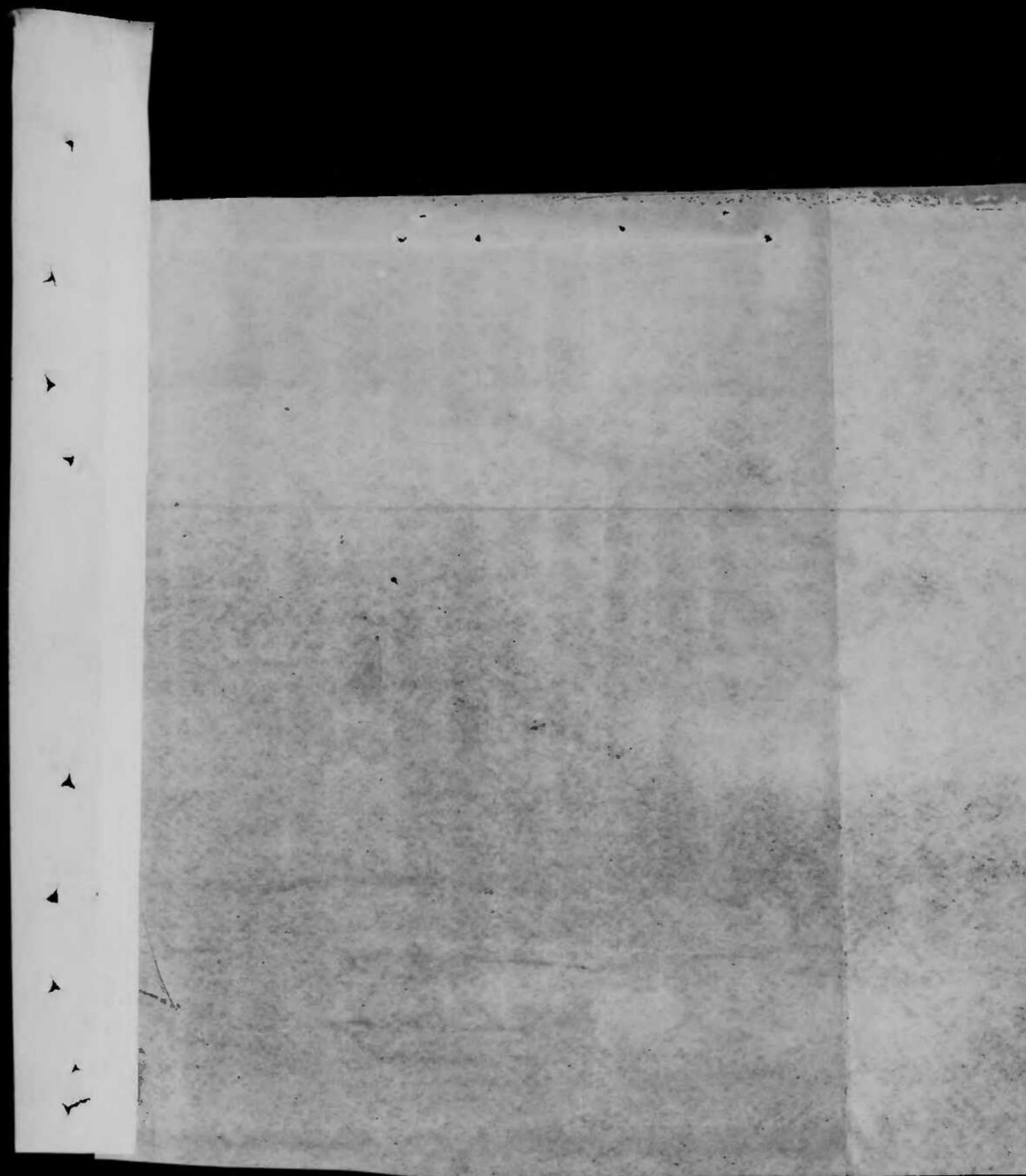
旅 客

京神急行電鉄

區間	哩數	人員	人哩	摘要
皇京 郡	38.8	2,628,000	101,966,400	

貨 物

種類	區間	哩數	噸數	噸哩	摘要
大柄工藝品及 舶來雜貨等	皇京 郡	38.8	25,550	991,340	



定款

第一章 總則

第壹條 當會社^ハ京神急行電鐵株式會社

ト稱ス

第二條 當會社^ハ本店^ヲ京都市ニ置ク

第三條 當會社^ハ資本金ヲ金貳仟萬圓ト

ス

第四條 當會社^ハ旅客並ニ貨物、輸送ヲ

ナス

公益事業ヲ營ムヲ以テ目的トス

第五條 當會社^ハ存立期限ハ會社成立ノ

日ヨリ滿五拾ヶ年トス

第二章 株式

第六條 當會社ノ廣告ハ大阪朝日新聞及

大阪毎日新聞ニ掲載シテ之ヲ爲

ス

第七條 當會社總株式數ハ四拾萬株トシ

壹株ノ金額ヲ金五拾圓トス

第八條 當會社ノ株式ハ壹株券、拾株券

百株券ノ三種トシ凡テ記名式

トス

第九條 當會社ノ株金ノ拂込ハ第壹回

金五圓トス第貳回以後ノ拂込

ハ取締役會ノ決議ヲ以テ之ヲ定

第拾條

株金ノ拂返ヲ急リタル株主ハ
金百圓ニ付壹日金四錢ノ延滯

利息ヲ徵収ス

第拾壹條

株券ヲ紛失シ其再交付ヲ請求
セシ時ハ會社ハ事實、證明ヲ
得タル後請求者ノ費用ヲ以テ
其旨廣告シ六拾日ラ經過シタ
ルニ他ニ故障無キ場合ニ限り

其請求ニ應ズ

第拾貳條

株式名儀書換料ハ壹枚ニ付金
拾錢ヲ再交付ノ場合ハ壹枚ニ

付金五拾錢ヲ徵収ス

第拾參條

株主ハ住所及印鑑ヲ會社ニ届
出ベシ其氏名、住所、印章ヲ變更

シタル時亦同ジ

第拾四條

當會社ハ毎決算期ノ翌日ヨリ定

時株主總會ノ終了迄株主名儀、
書換ヲ停止ス臨時株主總會ハ其
通知ヲ發シタル日ヨリ其終了迄

株式名儀ノ書換ヲ停止ス

第參章 株主總會

第拾五條

定期株主總會ハ毎年一月ト七月
ニ之ヲ招集ス

臨時株主總會ハ必要ノ都度之

(ラ)招集ス

第拾六條 株主總會ノ議長ハ社長之任ズ
社長事故アル時ハ他ノ取締役

之(ラ)代理ス

第拾七條 總會ノ議事ハ出席株主ノ決議

權ノ過半數(ラ)以テ之(ラ)決ス

但シ可否同數ナル時ハ議長之(ラ)裁決ス

第拾八條 總會ニ於テ議決シタル書類ハ
之(ラ)議事録ニ登録シ議長並ニ
出席株主、貳名之署名捺印シ

(ラ)保存スルモノトス

第四章 役員

第拾九條 取締役ハ拾名以内監査役ハ五

名以内トス

第二拾九條 取締役及監査役ハ、貳百株以

上(ラ)所有スル株主中ヨリ之(ラ)

撰任ス

第二拾壹條 取締役ハ互撰(ラ)以テ社長壹名

専務取締役壹名(ラ)撰任ス

社長並ニ専務取締役ハ共ニ會

社(ラ)代表スベキ取締役トス

第二拾貳條 取締役ノ任期ハ參ヶ年監査役

ノ任期ハ貳ヶ年トス

但シ其任期力任期中最終ノ定時株主總會前ニ満チタル時ハ總會終了ノ日迄延長スルモノトス

第貳拾參條

取締役又ハ監査役、久貞ヲ生ジタル時ハ株主總會ヲ開キ、補欠擇舉ヲ行フ

第貳拾四條

補欠員ノ當撰ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第貳拾四條

取締役ハ在任中其ノ所有株式貳百株ヲ監査役ニ供託スル事

ヲ要ス

第貳拾五條

取締役及監査役ノ報酬ハ其總額ヲ株主總會ニ於テ之ヲ定ム

第五章 計算

第貳拾六條

當會社ノ計算ハ年貳期ニ分

上半期 一月一日ヨリ六月三

十日迄

下半期 七月一日ヨリ十二月

三十一日迄

第貳拾七條

利益金處分方法ハ尤ノ如

ノ定ム

一法定積立金 百分ノ五

一別途積立金 百分ノ五

一役員賞與金 若 千

一株主配當金 若 千

一後期繰越金 若 千

ノトス

第貳拾八條

附則

第貳拾九條 當會社ハ初期ノ決算ニ限り

都合ニ依リ次期ト合併スル

事ヲ得

第參拾條

以 上

當會社ノ負担ニ歸スベキ創立費用ハ金五萬圓以内トス

京都神戸間
鐵道敷設
免許申請書

附 委任狀



委任狀

一、發起人南喜三郎ヲ懇代ト定メ
本申請書ノ改訂、増補、削減及ビ
發起人ノ脱退又ハ追加等一切
ノ行爲ヲ處理スル事並ニ發起
人ノ爲スベキ凡テノ行爲ヲ各
別ニ又ハ總括的ニ代理スル事

右委任狀如件

大正拾四年三月二十三日

京神急行電鐵株式會社發起人

平山太人

白仁三郎

曾山志次

市村吉之助

木村厚三

山口平太郎

井上喜三

林治作

加藤武左衛門

井上卯

山邑太三郎

相田文一
林江人下
村尾智行
川嶋豊太郎
森田儀之助
川嶋豊太郎

裏面白紙

京 都 府

四士第二〇三八號

大正十五年十一月二十四日

京都府知事 濱田恒之

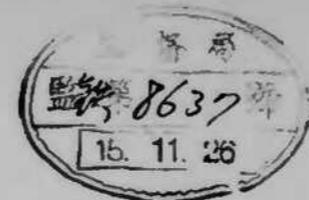
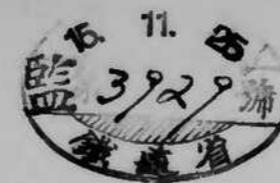
鐵道大臣子爵 井上匡四郎殿



京神急行電鐵發起人追加ノ件

標記鐵道株式會社發起人追加ノ義別紙ノ通申出候ニ付及進達候也

追テ右追加發起人ニ對スル身元ハ目下調査中ニ付追テ送付可致候



裏面白紙

兵庫縣寶塚(阪急線寶塚南口驛前)
株式會社 寶塚ホーテル
電話寶塚一〇九番番

發起人追加申請書

大正十四年三月二十三日付京都、神戸間電氣鐵道敷設免許申請
書ニ左記十二名追加致度此候及追申候也

李佐政添付文也

大正十五年拾壹月 日

京神急行電鐵株式會社

發起人總代 南 喜 三 郎

鐵道大臣
井 上 国 四 郎 殿

4土2038
大正15.11.12文庫

兵庫縣寶塚(阪急線寶塚南口駅前)

株式會社 寶塚木テル

電話寶塚一〇三一番

京神急行電鐵株式會社發起人

大阪市天王寺區北山町五千四百四十九番地

林 安 繁

大阪市天王寺區鳥ヶ辻町二十五番地

林 市 増

神戶市兵庫水木通二丁目一番地

瀧 川 優 作

東京市芝區高輪南町五十三番地

小 川 邦 太 郎

神戶市花隈町百九十三番屋敷

内 藤 爲 三 郎

大阪市北區老松町二丁目十五番地

大 路 環

○ 寶塚木テル

植 場 平

大阪府三島郡大冠村大字野中八十五番地

野 村 治 一 良

兵庫縣西宮市池田町八十七番地

野 口 泰 次

大阪市東區北久寶寺町四丁目七番地

松 田 三 德

大阪市北區樺上町六十四番地

森 本 喜 太 郎

東京市麻布區一本松町二十一番地

芳 澤 喜 一

以 上

裏面白紙

株式會社 寶塚ホテル

電話寶塚一〇九一番



委任狀

拙者儀南喜三郎ヲ代理入ト定メ左ノ行爲ヲ代理ヒシム

一、大正拾四年參月貳拾參日南喜三郎外貳拾貳名發起人連署出願
ニ係ル京都神戸間電氣鐵道敷設免許申請書ニ發起人トシテ追
加スル一切ノ手續行爲、

一、發起人南喜三郎ヲ想代ト定メ右免許申請書ノ改訂増補削減及
發起人ノ脱退又ハ追加等ノ一切ノ行爲ヲ處理スルコト並ニ發
起人ノ爲スベキ行爲ヲ各別ニ又ハ總括的ニ代理スル事、

右委任狀如件

大正十四年四月廿二日

大阪市天王寺区北山町五丁四九

京神急行電鐵株式會社發起人

林安



木久 任 状

拙者儀南喜三郎ヲ代理人ト定左、行為ヲ代理セシム

一 大正拾四年參月試繪參日南喜三郎外就括、就名起發起人連署出願係京都
神戸間電氣鉄道ノ設免許申請書及發起人追加ノ一切ノ手続行為
一 及び起人南喜三郎ヲ物代ト先考免許申請書改訂増補前減及發起人脱
退又追加等一切行為ヲ處理スル下並ニ起人為不當行為ヲ各別文、總括
的ニ代理スル事。

右委任狀如件

大正拾四年六月廿二日

京神急行電氣株式會社起發起人

大阪市天王寺區中之三十五番地

林市義

委任狀

拙者儀南喜三郎ヲ代理人ト定メ左ノ行爲ヲ代理セシム
一大正拾四年參月貳拾參日南喜三郎外貳拾貳名發起人連署出願ニ係ル京
都神戶間電氣鐵道敷設免許申請書發起不シ追加スル一切手續行爲
一發起人南喜三郎ヲ總代ト定メ免許申請書改訂増補削減及發起人
脱落又追加等一切行爲處理スルコト並ニ發起人為大代行爲ヲ名別ニ又總括的ニ
代理スル事

右委任狀四件

大正拾四年六月廿二日

京神急行電鐵株式會社發起人

神戶市兵庫水木連動自產廣地

藏川





委任状

指者儀南喜三郎ヲ代理人ト定ソ左ノ行爲ヲ代理セシム
大正拾四年參月貳拾參日南喜三郎外貳拾貳名發起人連署出願ニ係ル京
都神戸間電氣鐵道敷設免許申請書發起人シテ追加スル一切手續行爲
發起人南喜三郎ヲ惣代定若免許申請書改訂増補削減等取扱
脱落及追加等一切行爲之處理スルコト並發起人為大行爲サ各別ニ終括的
代理スル事。

右委任狀四件

大正拾四年大正月廿二日

京神急行電鐵株式會社發起人

東京市芝区高輪町五丁目

御太郎



2

委任狀

拙者儀南喜三郎ヲ代理人ト定メ左ノ行爲ヲ代理セシム
大正拾四年參月貳拾參日南喜三郎外貳拾貳名發起人連署出願ニ係ル京
都神戸間電氣鐵道敷設免許申請書發起人シ追加スル一切手續行爲
發起人南喜三郎ヲ惣代定若免許申請書改訂増補削減發起人
脱退又追加等一切行爲ヲ處理スルコト並發起人為たば行爲ヲ各別ニ又總括的ニ
代理スル事

右委任狀四件

大正拾四年五月廿二日

京神急行電鐵株式會社發起人

神戸市花隈町廿九校旁多處及

大路環





委任状

拙者儀南喜三郎大代理人ト定左、行為大代理セシム

大正拾四年參月貳拾參日南喜三郎外就旅就名登記起人連署出願ニ係ル京都

神戸間電氣鐵道敷設免許申請書及發起人追加ノ一切ノ手續行為
一、發起人南喜三郎ヲ總代行若免許申請書改訂増補前減及發起人脱
退不追加等一切行為ノ處理ノリト並ニ發起人為ス之行為各別々總括
的ノ代理ニル事。

右委任狀如件

大正拾四年大正月廿二日

京神急行電鐵株式會社發起人

大阪市北區老松町草薙車站

大正拾四年大正月廿二日



添

件

松者儀南喜三郎代理人是事行處大代理也云

一、大正拾四年參月貳拾參日南喜三郎外貳拾萬大圓銀元付之連電出鐵係之京都

神戶開電氣鐵道敷設免許申請書高大正拾肆年三月廿五日追加ノ一切ノ系統行處

一、此段起人南喜三郎口認代定若免許申請書後不增補前減及發起人脫
退不追加等一切行為ノ處理ノ件並ニ契約人為不當行為各別文紙持

的代理スル事。

右委任狀如件

大正拾四年吉立月廿二日

京神急行電鐵株式會社代表人

大沒付三島郡大眉村大字中ノ十五番地

植博平



委任狀

者儀南喜三郎ヲ代理人ト定メ左、行爲ヲ代理セシム
大正拾四年參月貳拾參日南喜三郎外貳拾貳名發起人連署出願ニ係ル京
都神戸電氣鐵道敷設免許申請書發起人トシテ追加スル一切手續行爲
發起人南喜三郎ヲ總代ト定メ右免許申請書改訂増補削減及發起人ノ
追加等切行爲處理スルト並ニ發起人行為各別ニ又ハ總括的ニ
代理スル事。

委任狀四件

大正拾四年九月廿二日

京神急行電鐵株式會社發起人

兵庫縣西宮市池田町八十七番地

野村治一良



木 任 状

松者儀南喜三郎代理人ト定左、行為ヲ代理セシム

大正拾四年參月貳拾參日南喜三郎外貳拾貳名起發起人連署出願、係少京都
神戸間電氣鉄道敷設免許申請書及發起人シテ追加ル一切、手続行為
及發起人南喜三郎ヲ物心代^ト是若免許申請書改訂曾補前減及發起人脱
退又追加等一切行為ヲ處理スル下並ニ發起人為不^ト行為ヲ各別文終極
的代理スル事。

右委任状如件

大正拾四年拾月廿二日

京神急行電氣株式會社^{大正}社長
大坂市東正庄文宝寺門牌^{大正}番地

伊江春次



委任狀

拙者儀南喜三郎ヲ代理人ト定メ左ノ行爲ヲ代理セシム
大正拾四年參月貳拾參日南喜三郎外更換貳度發起人遂署出候ル京
神戸電氣鐵道敷設免許申請書發起人追加スル一切手續之行爲
後起人南喜三郎ヲ總代付是又免許申請書改訂増補削減及發起人
脱落又追加等一切行爲之處理ハコト並ニ發起人為次行爲ヲ各別又總括的
代辦之凡事

右承任狀四件

東京市神田一木橋町貳拾七番地

大正拾四年考立月廿二日

松田三徳

京神急行電鐵株式會社發起人



木下 伍

被者儀南吉郎代理今定左一行為大代理セシム
大正拾四年叁月廿日吉喜三郎外就本社事務室、出願係ニ京都
神戶間電氣終連敷設免許申請書アリ。シテ追加スル一切ノ手続行
茲起人南喜三郎ヨリ代定若免許申請書改訂曾補前減及發起人脱
退不追加等一切行為ヲ處理スルト並ニ茲起人為大行為各別ニ終極
的代理スル事。

右委任狀如件

大正拾四年五月廿一日

京神急行電鐵株式會社代表人

大正市少翁商店主木口有也

木口有也



委狀

拙者儀南喜三郎ヲ代理今是左ノ行為ヲ代理シム

一、大正拾四年參月貳拾參日高喜三郎外號吉、真名義發起人連署出願ニ係レ京都

神戸間電氣鐵道設施免許申請書及發起人シテ追加ル一切ノ手続行為
一、發起人高喜三郎物代ト定若此許申請書改訂増補前減及發起人脱
退又追加等一切行為ヲ處理スルト並ニ發起人為不當行為ヲ各別文總括
的代理スル事

右委任狀如件

大正拾四年吉元月廿二日

高喜三郎、高木式曾社及發起人

神戸市四丁目乙十九号

共澤登三一

裏面白紙

京 都 府

四士第二〇三八號

大正十五年十二月二十三日

京都府知事 濱 田 恒 之 助

鐵道大臣子爵 井 上 國 四 那 殿

京神急行電鐵株式會社發起人總代更改ノ件

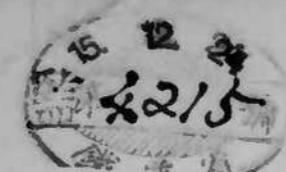
本年九月二十一日付四士第二〇三八號ヲ以テ及進達置候標記鐵道
敷設免許申請者發起人總代別紙ノ通更改届出候ニ付

右進達候也

總務課長

別代役人

別代役人



254

107

裏面白紙

寶塚木テル
電話寶塚一〇九番

發起人惣代更改届

今般都合ニ由リ發起人惣代ヲ瀧川儀作ニ更致候間此段及御届
候也

大正十五年十二月十五日

神戸市兵庫水木通二丁目一番地

京神急行電鐵株式會社

發起人惣代

瀧川儀作

元發起人惣代

南喜三郎

鐵道大臣

子爵井上國四郎殿

裏面白紙

貴様(阪急線寶塚南口駅前)
株式會社 賽塙木テル

電話寶塚(一〇三一)番番

109



委任狀

拙者ガ發起人惣代トシテ各發起人ヨリ委任サレタル凡テノ權限
行爲ヲ今回更ニ瀧川儀作ニ委任代理セシムルコト、ス

依テ委任狀如件

大正十五年十二月十五日

京神急行電鐵株式會社
發起人惣代 南 喜 三 郎

先願關係

一、尼寶電鐵株式會社前田房之助氏一派、出願ニ係ル
西宮、富田間、線路ハ或事情、下ニ故ラニ西宮、如
キ人口僅ニ三萬、（接續村ヲ併合シテ）小市街地
一農村ニ過キサル富田トヲ連結スルモノニシテ其
願書ハ京神急行ヨリ元後ニ提出シタリ唯京神急行
ハ一縣ニ二府ニ跨リ神戸、京都兩市ニ乘入ル、關係上
各市會ニ諮詢シタル為メ願書カ後レテ本省ニ到着
シタルニ過キス從テ京神急行ト西宮、富田間ト力競
願、關係トナルモノトスレハ京神急行ハ先願者ト

シテ取扱ハルヘキモノナリ况シヤ西宮、富田間
、如キ小市街ト一農村トヲ連結スル交通機関ハ
現在ニ於テ何等、價值ナキノミナラス将来ニ元
發達、希望ナク一旦其認可ヲ得テ更ニ神戸、京都
ニ延長セントスル底意ナルコトハ明ニ之ヲ看取
シ得ラルニ於テラヤ

阪神電鐵トノ關係

二、阪神電鉄ハ神戸、大阪ヲ連結スル海岸線ナルニ京
神急行ハ鉄道及阪急電鉄ヲ隔テ、其以北ナル山
手ヲ通スル線路ニシテ兩線、距離甚夕遠キノミ

十ラス一ハ阪神間，交通機関タリ一ハ神戸，京都間直通，線ナルカ故ニ神戸，大阪，旅客ハ勿論阪神電鉄沿道，乗客ヲ京神急行ニ吸收スル，惧ナク從テ京神急行，計畫ハ阪神電鉄ニ衬シテ影響。ナシ。

阪急電鉄トノ關係

三、京神急行，芦屋以西ハ阪急電鉄ト，併行線ナレトモ京神急行，沿線ハ住宅極メテ寡ク既設，阪急電鉄ニ格別，影響ナシ而カモ京神急行線，沿道一帶ハ住宅地トシテ最も優良ナル地域ナレハ一タニ電

車，開通ヲ見ルトキハ其開發特ニ著シキモノアルヘシ是レ阪神急行線，開通ニヨリテ人口稀薄ナリシ沿道カ今日ノ如キ大發展ヲ為シタル既往，實例ニ織シテ疑ヲ容レサル所ナリ而シテ阪急沿線ハ今尚ホ急速，發達ヲ為シツ、アルカ故ニ寧口互ニ培養線タル，實ヲ擧ケ得ヘキコトヲ信。シテ疑ハス。

新京阪トノ關係

四、新京阪ハ京都四條ニ達スル線路ナルニ京神急行ハ七條ニ入ル計画ナレハ兩線ハ京都ニ於ケル起

點ヲ異ニスル、ミナラス右兩線交叉點タル山崎ハ
單ナル經過地ニシテ旅客貨物、集散ナク而シテ一
ハ京都、大阪間、交通系統ニ屬シ一ハ京都、神戸、直
通ヲ目的トシ全然其交通系統ヲ異ニスルカ故ニ新
京阪ニ衬シテモ何等、影響ナシ。

國有鐵道ト、關係

五、京神急行、計劃ハ主トシテ其沿道、開發ト兩大都
市、最近距離（西國街道）ニ其線路ヲ選定シ交通
時間ヲ著シテ短縮スルコトニ因リテ生スル交通量
、自然増加ニ着眼シタルモノニシテ京神間、省線

ノ收益ヲ侵サントスルモノニ非ス、蓋シ京神急行ト
省線トハ神戸、京都間ヲ通シテ觀ルトキハ之ヲ併行
線ナリト云フヲ得ヘシト雖モ京阪、神地方ハ非常十
ル速度ヲ以テ膨脹シツ、アリテ苟モ是等大都市ニ
通スル交通機関ヲ設備スルトキハ郊外住宅、經營
隨テ効興シ交通、激増セルコトハ顯著ナル事實ナ
リ、明治三十八年以前ニ在リテハ阪神間ニ於ケル交
通機関ハ一省線アルニ過キサリシカ一タヒ阪神電
鉄、開通スルヤ沿道ハ驚クヘキ發展ヲ遂ケ交通量
、増加ヲ未シ省線、收益ヲ脅威セサリシノミナラス

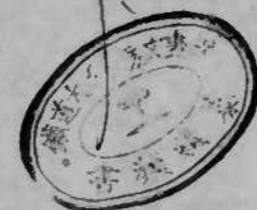
省線ニ依ル交通ニ亦年ト共ニ倍々増加セリ其後
大正八年頃更ニ阪急電鉄ヲ敷設セラレタルモ省
線並ニ阪神電鉄、經營ニ格別、打撃ヲ與フルコ
トナク却テ共ニ阪神間ノ開發ヲ助成シ竟フテ運
輸設備ニ改善ヲ加ヘ良好、結果ヲ招未シタリ是
沿道ノ開發トニ因リ交通量、増加ヲ生スル例證
ナリ仮ニ新線ニヨリテ一時既設線ニ若干、影響
ヲ及ホシタリトスルモ現今ニ於テハ若シ以上阪
神間ノ三線中其一ヲ廢スルトキハ到底阪神間、

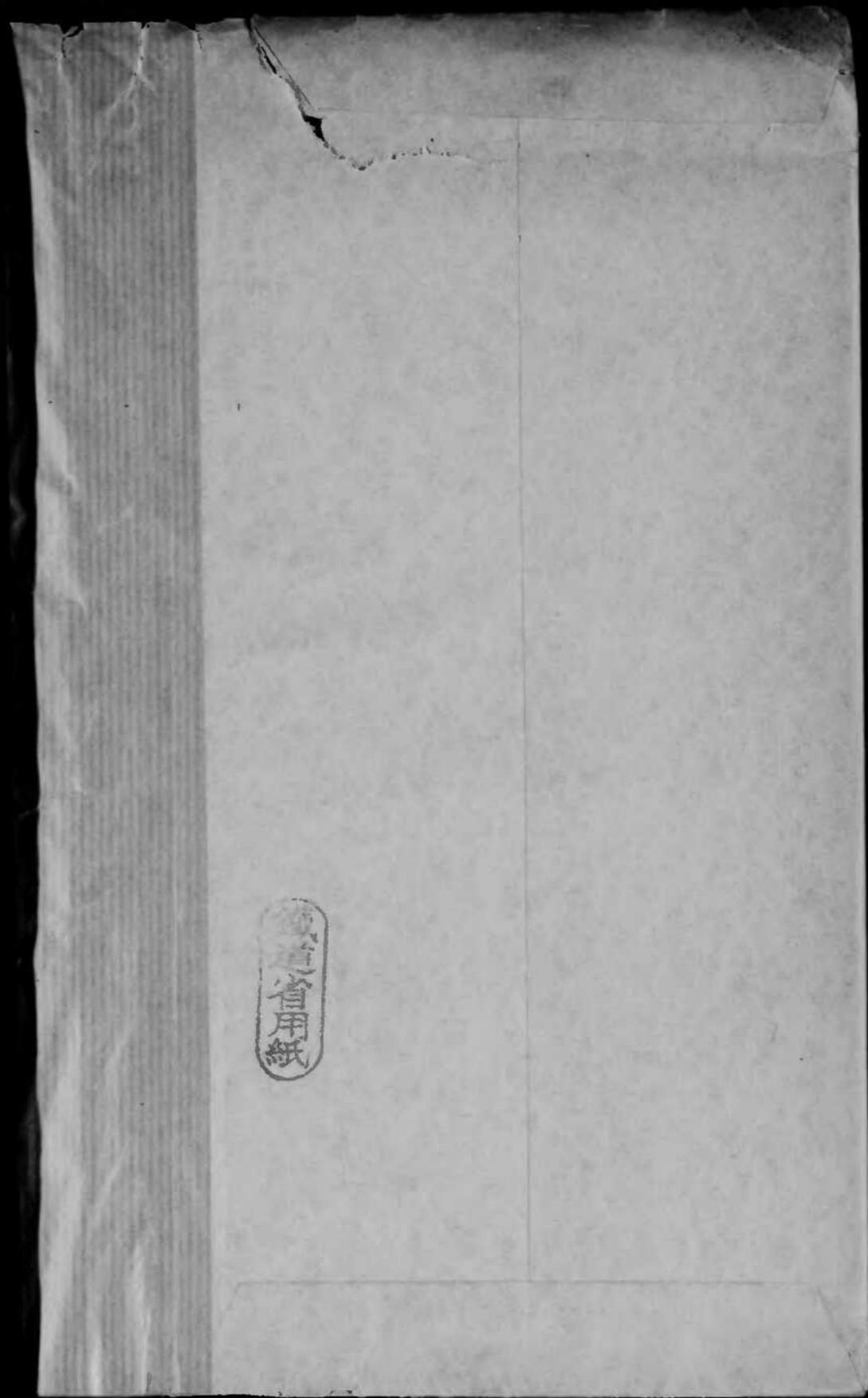
交通ヲ整理スルコト能ハサルニ至レリ斯ノ如ク
併行線ヲ許可セラル、モ直ニ既設、鉄道及電鉄
ニ対シテ脅威ヲ與ヘサルノミナラス數年ナラス
シテ必要欠クヘカラサル交通機関タル、價值ヲ
有スルニ至ルコト既往、實驗ニ織シテ自ラ明白
ナリ、况シヤ距離ニ於テ大阪市ヲ經由スル省線等
ニ比シ約十哩ヲ短縮シテ京神間約三十八哩トナ
リ時間ニ於テ約一時間即チ現在、約半分ニ過キ
サルニ至レハ沿線ノ開發ト相俟テ交通量、大増
加ヲ見ルヘキハ之ヲ推定スルニ難カラス殊ニ此

線路、開通ニヨリテ両都市住民ニ絶大ナル便益ヲ
與ヘ得ヘキニ拘ラス省線、收益ニ若干、影響アリ
ト、理由ニヨリテ其便益ヲ享有スルコト能ハサラ
シムルハ真ニ遺憾ニ堪ヘサル所ナリ、若シ一朝大震
火災其他、事変ニ因リ大阪市、交通機関ヲ破壊セ
ラル、カ如キ場合ニ遭遇センカ大阪ヲ經由セスシ
テ京神間ヲ直通スル完全ナル交通機関、必要ナル
コト何人ト雖々之ヲ否定スルコト能ハサルヘシ
六、收支計算、問題ニ至リテハ投資者、見込ニ委セラ
ル、ヲ妥當トスヘシ西宮、富田間、如キハ何ヲ目標

トシテ其收支相償フエ、トナスカ解スヘカラス

京改地圖表卷在下





0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

1 : 35

阪大及都京

縣車兵良奈府大阪京都強制

一二十万分之一帝國圖第二十二行第二十五段



封筒在中物

露光量違いにより重複撮影

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20

60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20

70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20

80

1 2 3 4 5 6 7 8 9 20

1 : 35

阪大及京都

縣軍兵真奈麻坂大郡京點賀道

二十分之一帝國圖第二十二行第二十五段



封
簡
在
中
物

露光量違いにより重複撮影

日本國地圖

大日本帝國測量部

大正八年製
大正八年六月三十日撮影
大日本帝國測量部



一二十万分之一帝國圖第二十二行第二十五段

露光量違いにより重複撮影

裏面白紙

京都市郊外

日本帝國政府製圖

二十万分之一帝國圖第二十二行第一十五段



露光量違いにより重複撮影

裏面白紙

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

先願關係

一尼寶電鐵株式會社前田房之助氏一派、出願ニ
係ル西宮、富田間、線路ハ或事情、下ニ故ラニ
西宮、如キ人口僅ニ三萬、接續村ヲ併合シ
テ一小市街地ト一農村ニ過キサル富田トヲ連
結スルモノニシテ其願書ハ京神急行ヨリモ後ニ
提出シタリ唯京神急行ハ一縣ニ府ニ跨リ神戸、京
都兩市ニ乗入ル、關係上各市會ニ諮詢シタル為メ
願書カ後レテ本省ニ到着シタルニ過キス從テ京神
急行ト西宮、富田間ト競願、關係トナルモノトスレ

ハ京神急行ハ先願者トシテ取扱ハルヘキモノ
ナリ况シヤ西宮、富田間、如キ小市街ト一農村
トヲ連結スル交通機關ハ現在ニ於テ何等、價值
ナキ、ミナラス将来ニ及發達、希望ナク一旦其認
可ヲ得テ更ニ神戸、京都ニ延長セントスル底意ナ
ルコトハ明ニ之ヲ看取シ得ラルニ於テラヤ

阪神電鉄トノ關係

二阪神電鉄ハ神戸、大阪ヲ連結スル海岸線ナルニ
京神急行ハ鉄道及阪急電鉄ヲ隔テ、其ノ以北
ナル山手ヲ通スル線路ニシテ兩線、距離甚

1 : 25

タ遠キ、ミナラス一ハ阪神間、交通機関夕リ
一ハ神戸、京都直通、線ナルカ故ニ神戸、大阪、旅
客ハ勿論阪神電鉄沿道、乗客ヲ京神急行ニ吸收
スルノ惧ナク從テ京神急行、計劃ハ阪神電鉄ニ。
衬シテ絶対ニ影響ナシ。

阪急電鉄ト、關係

三、京神急行、芦屋以西ハ阪急電鉄ト、併行線ナレ
トモ京神急行、沿線ハ住宅極メテ寡々既設、
阪急電鉄ニ格別、影響ナシ、而カモ京神急行線
、沿道一帶ハ住宅地トシテ最も優良ナル地域

ナレハ一タニ電車、開通ヲ見ルトキハ其開發特
ニ著シキモノアルヘシ是レ阪神急行線、開通ニヨリ
テ人口稀薄ナリシ沿道カ今日、如キ大發展ヲ為
シタル既往、實例ニ微シテ疑ヲ容レサル所ナリ而
シテ阪急沿線ハ今尙ホ急速、發達ヲ為シリ、アル
カ故ニ寧口互ニ培養線タル、實ヲ擧ケ得ヘキコト
トヲ信シテ疑ハス。

新京阪ト、關係

四、新京阪、京都四條ニ達スル線路ナルニ京神急
行ハ七條ニ入ル計画ナレハ兩線ハ京都ニ於ケル

起点ヲ異ニスルノミナラス右両線交叉点タル山崎
ハ單ナル經過地ニシテ旅客貨物，集散ナク而シテ
一ハ京都、大阪間，交通系統ニ属シ一ハ京都、神戸，
直通ヲ目的トシ全然其交通系統ヲ異ニスルカ故ニ新。
京阪ニ衬シテ元何等，影響ナシ。

國有鉄道トノ關係

五、京神急行，計劃ハ主トシテ其沿道，開發ト兩大
都市，最近距離（西國街道）ニ其線路ヲ選定シ交
通時間ヲ著シ，短縮スルコトニ因リテ生スル交通量
，自然増加ニ着眼シタルモノニシテ京神間ノ省線，

收益ヲ侵サンタルモノニ非ス、蓋シ京神急行ト
省線トハ神戸、京都間ヲ通シテ観ルトキハ之ヲ併
行線ナリト云フヲ得ヘシト雖ミ京阪、神地方ハ非常
ナル速度ヲ以テ膨脹シツ、アリテ苟モ是等大都市
ニ通スル交通機関ヲ設備スルトキハ郊外住宅，經營
隨テ勃興シ交通，激増セルコトハ顯著ナル事實ナリ。明
治三十八年以前ニ在リテハ阪神間ニ於ケル交通
機関ハ一省線アルニ過キサリシカ一タヒ阪神電鉄
，開通スルヤ沿道ハ驚クヘキ發展ヲ遂ケ交通
量，増加ヲ來シ省線，收益ヲ脅威セサリシノミナ

ラス省線ニ依ル交通モ亦年ト共ニ倍々増加セリ其後大正八年頃更ニ阪急電鉄ヲ敷設セラレタル元省線並ニ阪神電鉄、經營ニ格別、打撃ヲ與フルコトナク却テ共ニ阪神間、開發ヲ助成シ竟フテ運輸設備ニ改善ヲ加ヘ良好、結果ヲ招来シタリ是レ大都市ヲ連結スル交通機関ハ其都市、發展ト沿道、開發トニ因リ交通量、增加ヲ生スル例証ナリ阪ニ新線ニヨリテ一時既設線ニ若干、影響ヲ及ホシタリトスルニ現今ニ於テハ若シ以上阪神間、三線中其一ヲ廢スルトキハ到底阪神間、交通ヲ整理スルコト能

ハサルニ至レリ斯ク、如ク併行線ヲ許可セラル、モ直ニ既設、鉄道及電鉄ニ衬シテ脅威ヲ與ヘサルノミナラス數年ナラスシテ必要久シヘカラサル交通機関タル、價值ヲ有スルニ至ルコト既往、實驗ニ繕シテ自ラ明白ナリ、况シヤ距離ニ於テ大阪市ヲ經由スル省線等ニ比シ約十哩ヲ短縮シ時間ニ於テ約一時間即チ現在、約半分ニ過キサルニ至レハ沿線、開發ト相俟テ交通量、大増加ヲ見ルヘキハ之ヲ推定スルニ難カラス殊ニ此線路、開通ニヨリテ兩都市住民ニ絶大ナル便益ヲ與ヘ得ヘキニ拘ラス省

線、收益ニ若干、影響アリトノ理由ニヨリテ其便益ヲ
享有スルコト能ハサラシムルハ真ニ遺憾ニ堪ヘサル所十
リ、更ニ若シ一朝大震火災其他、事変ニ因リ大阪市、交通
機関ヲ破壊セラル、カ如キ場合ニ遭遇センカ大阪ヲ
経由セスシテ京神間ヲ直通スル完全ナル交通機関、必
要ナルコト何人ト雖モ之ヲ否定スルコト能ハサルヘシ
六、收支計算、問題ニ至リテハ投資者、見込ニ委セラ
ル、ラ妥當トスヘシ西宮、富田間、如キハ何ヲ目標
トシテ其收支相償フズ、トナスカ解スヘカラス

先願關係

一、尼寶電鐵株式會社前田房之助氏一派、出願ニ
係ル西宮、富田間、線路ハ或事情、下ニ故ラニ
西宮、如キ人口僅ニ三萬、一接續村ヲ併合シ
テ、小市街地ト一農村ニ過キサル富田トヲ連
結スルエニシテ其願書ハ京神急行ヨリモ後ニ
提出シタリ、唯京神急行ハ一縣ニ府ニ跨リ神戸、京
都兩市ニ乗入ル、關係上各市會ニ諮詢シタル為メ
願書カ後レテ本省ニ到着シタルニ過キス從テ京神
急行ト西宮、富田間トカ競願、關係トナルエノトスレ

ハ京神急行ハ先願者トシテ取扱ハルヘキエ、
ナリ况シヤ西宮、富田間、如キ小市街ト一農村
トヲ連結スル交通機關ハ現在ニ於テ何等、價值
ナキノミナラス将来ニ及發達、希望ナク一旦其認
可ヲ得テ更ニ神戸、京都ニ延長セントスル底意ナ
ルコトハ明ニ之ヲ看取シ得ラルニ於テラヤ

阪神電鉄トノ關係

二、阪神電鉄ハ神戸、大阪ヲ連結スル海岸線ナルニ
京神急行ハ鉄道及阪急電鉄ヲ隔テ、其ノ以北
ナル山手ヲ通スル線路ニシテ兩線、距離甚

夕遠キノミナラス一ハ阪神間、交通機関夕リ
一ハ神戸、京都直通、線ナルカ故ニ神戸、大阪、旅
客ハ勿論阪神電鉄沿道、乗客ヲ京神急行ニ吸收
スル、惧ナク從テ京神急行、計劃ハ阪神電鉄ニ。
衬シテ絶対ニ影響ナシ。

阪急電鉄ト、關係

三、京神急行、芦屋以西ハ阪急電鉄ト、併行線ナレ
トモ京神急行、沿線ハ住宅極メテ寡々既設、
阪急電鉄ニ格別、影響ナシ、而カニ京神急行線
、沿道一帶ハ住宅地トシテ最ニ優良ナル地域

ナレハ一タニ電車、開通ヲ見ルトキハ其開駆特
ニ著シキモノアルヘシ是レ阪神急行線、開通ニヨリ
テ人口稀薄ナリシ沿道カ今日、如キ大發展ヲ為
シタル既往、實例ニ微シテ疑ヲ容レサル所ナリ而
シテ阪急沿線ハ今尚ホ急速、發達ヲ為シツ、アル
カ故ニ寧口互ニ培養線タル、實ヲ擧ケ得ヘキコ
トヲ信シテ疑ハス。

新京阪ト、關係

四、新京阪、京都四條ニ達スル線路ナルニ京神急
行ハ七條ニ入ル計劃ナレハ兩線ハ京都ニ於ケル

起点ヲ異ニスルノミナラス右兩線交叉点タル山崎
ハ單ナル經過地ニシテ旅客貨物，集散ナク而シテ
一ハ京都、大阪間，交通系統ニ屬シ一ハ京都、神戸，
直通ヲ目的トシ全然其交通系統ヲ異ニスルカ故ニ新。
京阪ニ対シテ之何等，影響ナシ。

國有鉄道トノ關係

五、京神急行，計劃ハ主トシテ其沿道，開發ト兩大
都市，最近距離（西國街道）ニ其線路ヲ選定シ交
通時間ヲ著シク短縮スルコトニ因リテ生スル交通量
，自然増加ニ着眼シタルモノニシテ京神間，省線，

收益ヲ侵サントスルモノニ非ス、蓋シ京神急行ト
省線トハ神戸、京都間ヲ通シテ観ルトキハ之ヲ併
行線ナリト云フヲ得ヘシト雖ニ京阪、神地方ハ非常
ナル速度ヲ以テ膨脹シツ、アリテ苟モ是等大都市
ニ通スル交通機関ヲ設備スルトキハ郊外住宅ノ經營
隨テ勃興シ交通ノ激増セルコトハ顯著ナル事實ナリ、明
治三十八年以前ニ在リテハ阪神間ニ於ケル交通
機関ハ一省線アルニ過キサリシカ一タヒ阪神電鉄
，開通スルヤ沿道ハ驚クヘキ發展ヲ遂ケ交通
量，增加ヲ來シ省線，收益ヲ脅威セサリシノミナ

ラス省線ニ依ル交通モ亦年ト共ニ倍々増加セリ其後大正八年頃更ニ阪急電鉄ヲ敷設セラレタル元省線並ニ阪神電鉄、經營ニ格別、打撃ヲ與フルコトナフ却テ共ニ阪神間、開發ヲ助成シ竟フテ運輸設備ニ改善ヲ加ヘ良好、結果ヲ招來シタリ是レ大都市ヲ連結スル交通機関ハ其都市、發展ト沿道、開發トニ因リ交通量、增加ヲ生スル例証ナリ阪ニ新線ニヨリテ一時既設線ニ若干、影響ヲ及ホシタリトスルニ現今ニ於テハ若シ以上阪神間ノ三線中其一ヲ廢スルトキハ到底阪神間、交通ヲ整理スルコト能

ハサルニ至レリ斯クノ如ク併行線シ許可セラル、モ直ニ既設ノ鉄道及電鉄ニ衬シテ脅威ヲ與ヘサルノミナラス數年ナラスシテ必要久クヘカラサル交通機関タル、價值ヲ有スルニ至ルコト既往、實驗ニ繕シテ自ラ明白ナリ、况シヤ距離ニ於テ大阪市ヲ經由スル省線等ニ比シ約十哩ヲ短縮シ時間ニ於テ約一時間即チ現在ノ約半分ニ過キサルニ至レハ沿線、開發ト相俟テ交通量、大增加ヲ見ルヘキハ之ヲ推定スルニ難カラス殊ニ此線路、開通ニヨリテ兩都市住民ニ絶大ナル便益ヲ與ヘ得ヘキニ拘ラス省

線、收益ニ若干、影響アリトノ理由ニヨリテ其便益ヲ
享有スルコト能ハサラシムルハ真ニ遺憾ニ堪ヘサル所十
リ、更ニ若シ一朝大震火災其他、事変ニ因リ大阪市、交通
機関ヲ破壊セラル、カ如キ場合ニ遭遇センカ大阪ヲ
經由セスシテ京神間ヲ直通スル完全ナル交通機関、必
要ナルコト何人ト雖モ之ヲ否定スルコト能ハサルヘシ
六、收支計算ノ問題ニ至リテハ投資者ノ見込ニ委セラ
ル、ヲ妥當トスヘシ西宮、富田間、如キハ何ヲ目標
トシテ其收支相償フエノトナスカ解スヘカラス

裏面白紙

127

四土第二〇三八號

昭和二年二月一日

京都府知

京都府



鐵道省監督局長嚴

京神急行電鐵株式會社追加發起人身元調査ニ關スル件
大正十五年十一月二十四日四土第二〇三八號ヲ以テ標記鐵道株式
會社追加發起人屆及進達候處該追加發起人ニ對スル資產並ニ信用
程度調査ノ件別記ノ通
右送付候也

而立奉サレ



京神急行電鐵株式會社追加當社人員元調查書

户主又 主別	年齢	職業	動産不 動産見 直	納國	額税按 程度用	需全以 上處研 告有也	其他參 考事項	住 所	名
明治九 年八月生 公吏	明治三 年八月生 七万四	明治五 年八月生 七万四	明治九 年八月生 八万四	大和木敷 林市	休	安繁			
明治九 年八月生 七万四	明治三 年八月生 六万四	明治五 年八月生 七万四	明治九 年八月生 八万四	大和木敷 市藏	居	勝			
明治九 年八月生 七万四	明治三 年八月生 六万四	明治五 年八月生 七万四	明治九 年八月生 八万四	内藤多 喜郎	場	平			
明治九 年八月生 七万四	明治三 年八月生 六万四	明治五 年八月生 七万四	明治九 年八月生 八万四	森木喜 次	居	勝			
明治九 年八月生 七万四	明治三 年八月生 六万四	明治五 年八月生 七万四	明治九 年八月生 八万四	野口泰 次	場	平			
明治九 年八月生 七万四	明治三 年八月生 六万四	明治五 年八月生 七万四	明治九 年八月生 八万四	小川御 太郎	居	勝			
明治九 年八月生 七万四	明治三 年八月生 六万四	明治五 年八月生 七万四	明治九 年八月生 八万四	松田三 徳	居	勝			
明治九 年八月生 七万四	明治三 年八月生 六万四	明治五 年八月生 七万四	明治九 年八月生 八万四	大路	居	勝			
明治九 年八月生 七万四	明治三 年八月生 六万四	明治五 年八月生 七万四	明治九 年八月生 八万四	芦澤	居	勝			
明治九 年八月生 七万四	明治三 年八月生 六万四	明治五 年八月生 七万四	明治九 年八月生 八万四	井川俄 作	居	勝			
明治九 年八月生 七万四	明治三 年八月生 六万四	明治五 年八月生 七万四	明治九 年八月生 八万四	野村源 良	居	勝			
日下調査中									

234

129

工務局系

金、通、令

標示記入件左記事項ニ關シ回答相成度

年月日
號申請、届出、回答

ノ件照會

照會
本月三日附四土第二〇三八號ヲ以テ京神急行電鉄株式會社發起人山邑太三郎死亡脫退一件進達

相手候處右尾吉添付、戶籍抄本ハ瀧川儀作ノモニニテ北者、抄本ニ旨之候余山邑太三郎、抄本至急送付幸存者、追テ瀧川儀作、抄本返付致候

登送往來及付文アリ

照會事項

四土第二〇三八號

昭和三年七月三日

事

京都府

鐵道省監督局長殿

京神急行電鉄株式會社發起人死亡届送達ノ件

大正十五年九月三十一日四土第二〇三八號ヲ以テ副申政置候標記鐵道株式會社發起人山邑太三郎死亡届出ニ付

右及進達候也

本處謹啟

舊村友曾輝發主人山邑太三郎故亡御出二旨

大正十五年平式良二十一日終土葬二〇三八歲以、據車輪實知心事

以轉知音通靈石五曾輝發主人我亡御出山ノ音

謹此音以晉誠如題

京語留感

海縣三平廿月二日

國土乙〇二八年

御相

當社創立號起人山邑太三郎故死去致欽付別狀戶籍
秒本相送へ此報友御相候也

昭和六年六月二十七日

京神總行電鍍株式會社

創立號起人總代

瀧川誠

總道大臣小川平吉殿



威烈大將小臣手書

無

第五號 該人等升

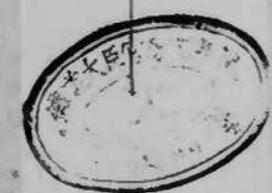
力滿道計官副署人等

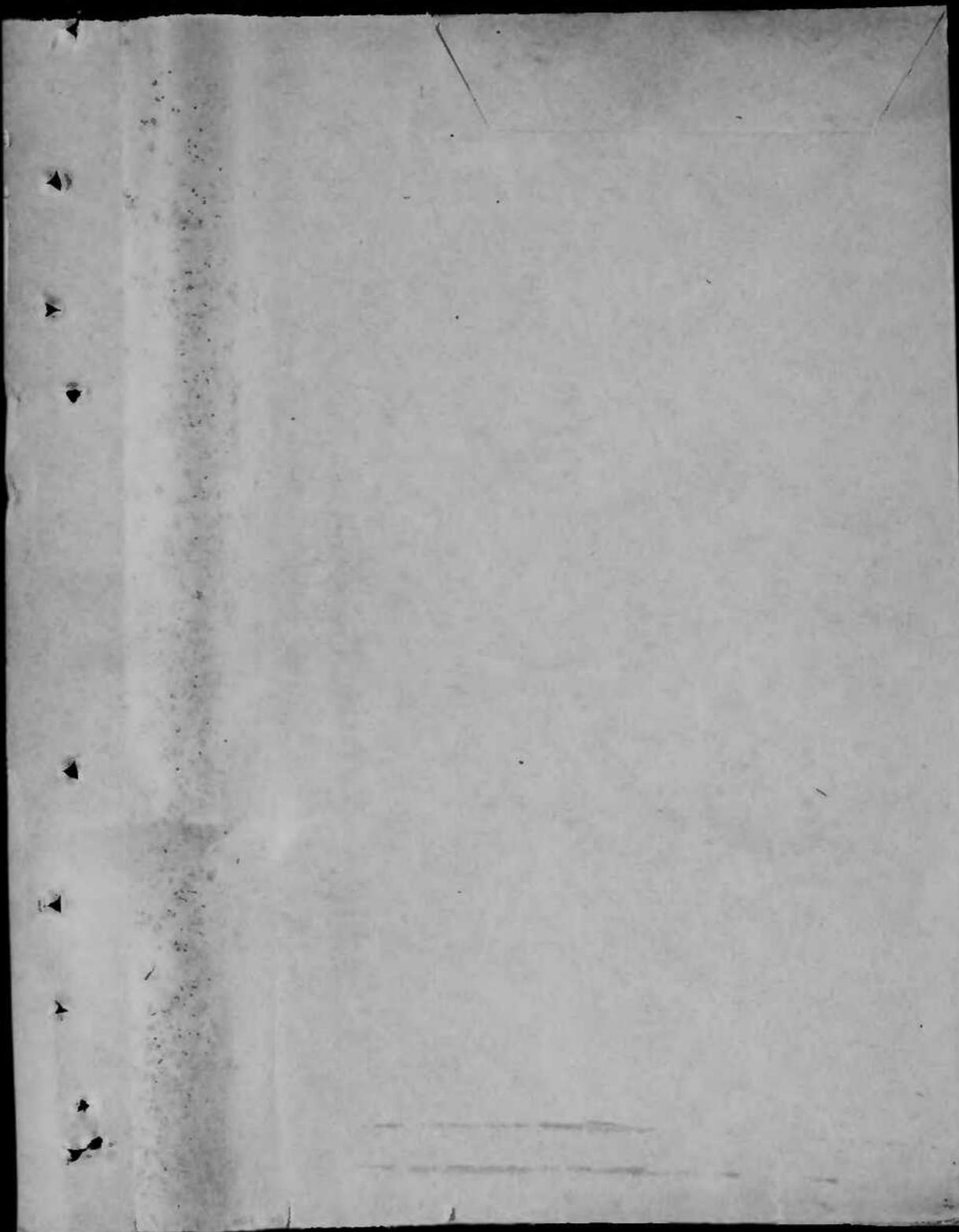
順治辛亥十二月廿二日

總督許國瑞奏摺

成祖徵立定遠八山總太三總制領將軍總兵官

地圖考葉在印





封筒在中物

裏面あり

(機密記載番號)
第 號 昭和 大正 年 月 日 受領又は受命
(文書用紙番號) 第 號 昭和 大正 年 月 日 資送又は掲載
本件 二年 六月十九日 立案

總務課長 決裁

（勘案立
印者室立）

書印

校者

合印

電話一二三四五

監督局長

次官 參與官

政務次官

大

京神急行電鉄東設願却下一件

封筒在中物

番號

正室用紙
金

金
通
行

案

主
義
細

(京都府全由)

京神急行電鉄株式會社

發起人

龍

川

儀

作

番號

大正十四年三月二十三日附申請鐵道敷

設件號函ヶ難レ

年 月 日

大
臣

封筒在中物

裏面白紙

理

由

本出願件、自下、交渉状態、於「東洋」必要千元/ト
被認付、何案一通、處理可然。

省你斧勞
六月某

三月廿二日

封筒在中物

裏面あり

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 9 1 : 35



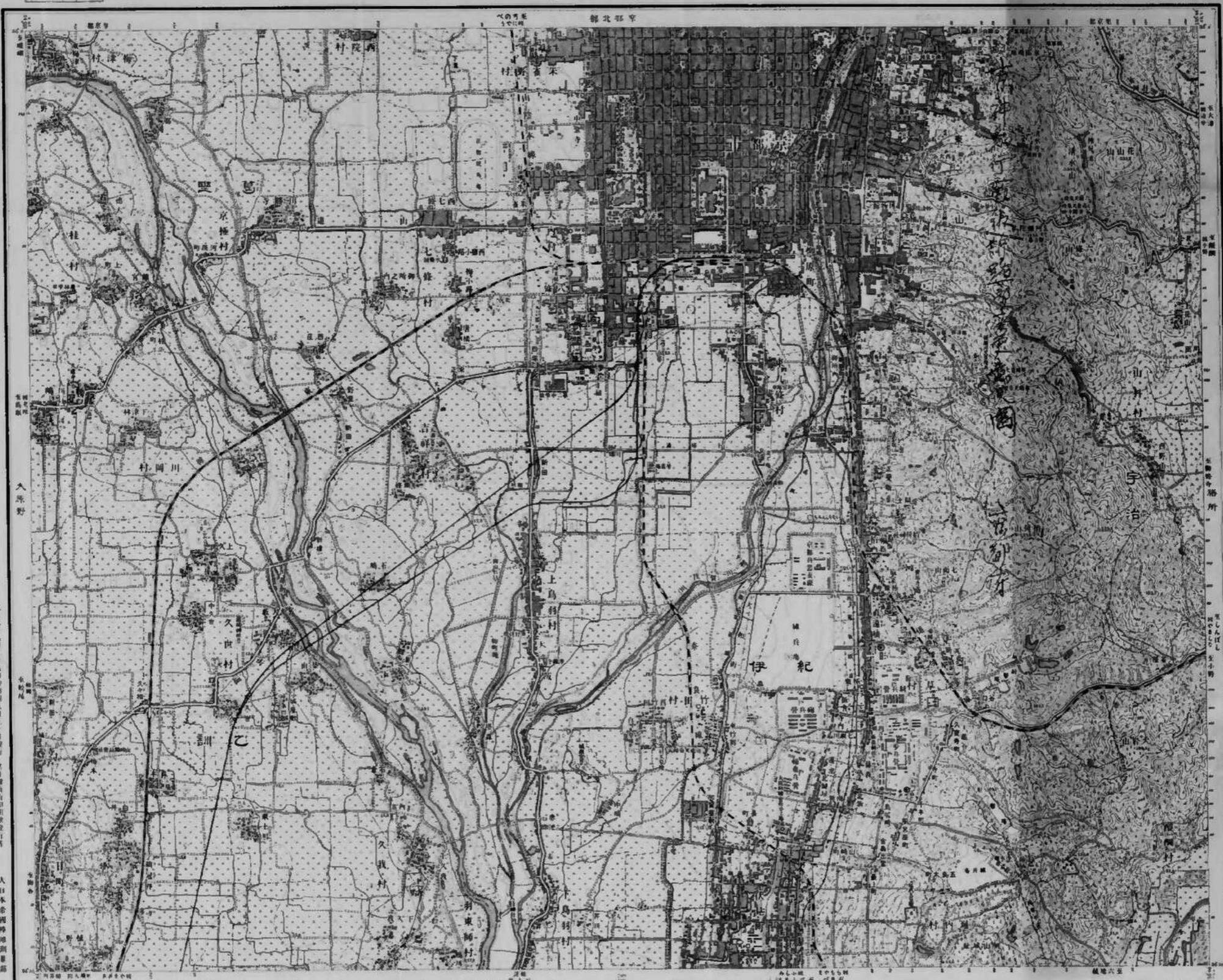
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 2
60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 2
70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 2
80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 2

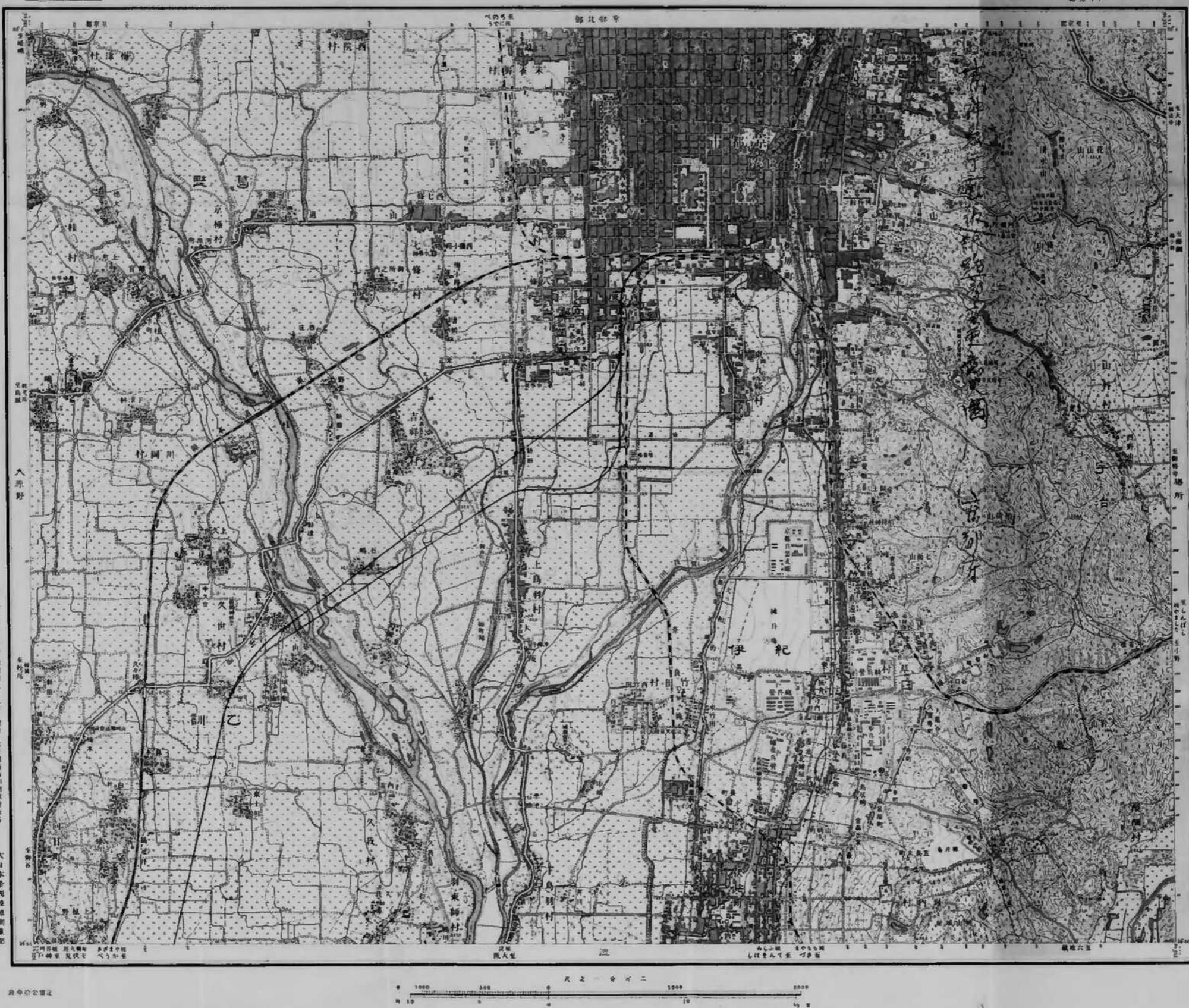
城城	御内御外	寺大
野原大	所屬	
山山	添字	

京南部

京都	京
京	京
伊	伊
山	山



京都南部



裏面あり

正

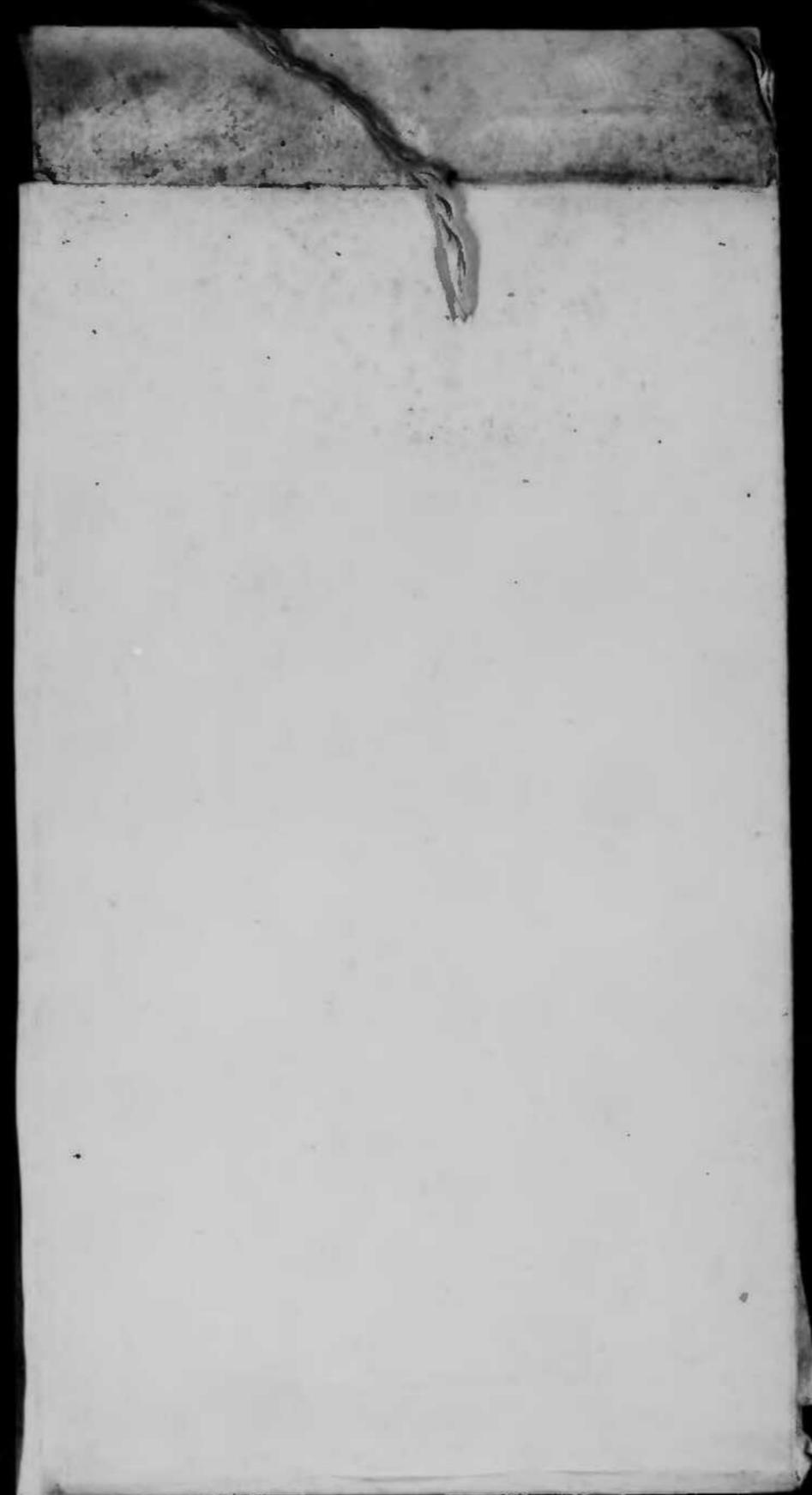
封 簡 在 中 物

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
mm

137

卷下却願設敷

1 : 25



京急神行電鐵
豫測平面図

封筒在中物

裏面あり

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 : 35

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20

崎	北都	六
野	都	七
崎	定	八

京都南部
山城郡
伊賀郡
山治郡
山治町
山治村
山治大字
山治字

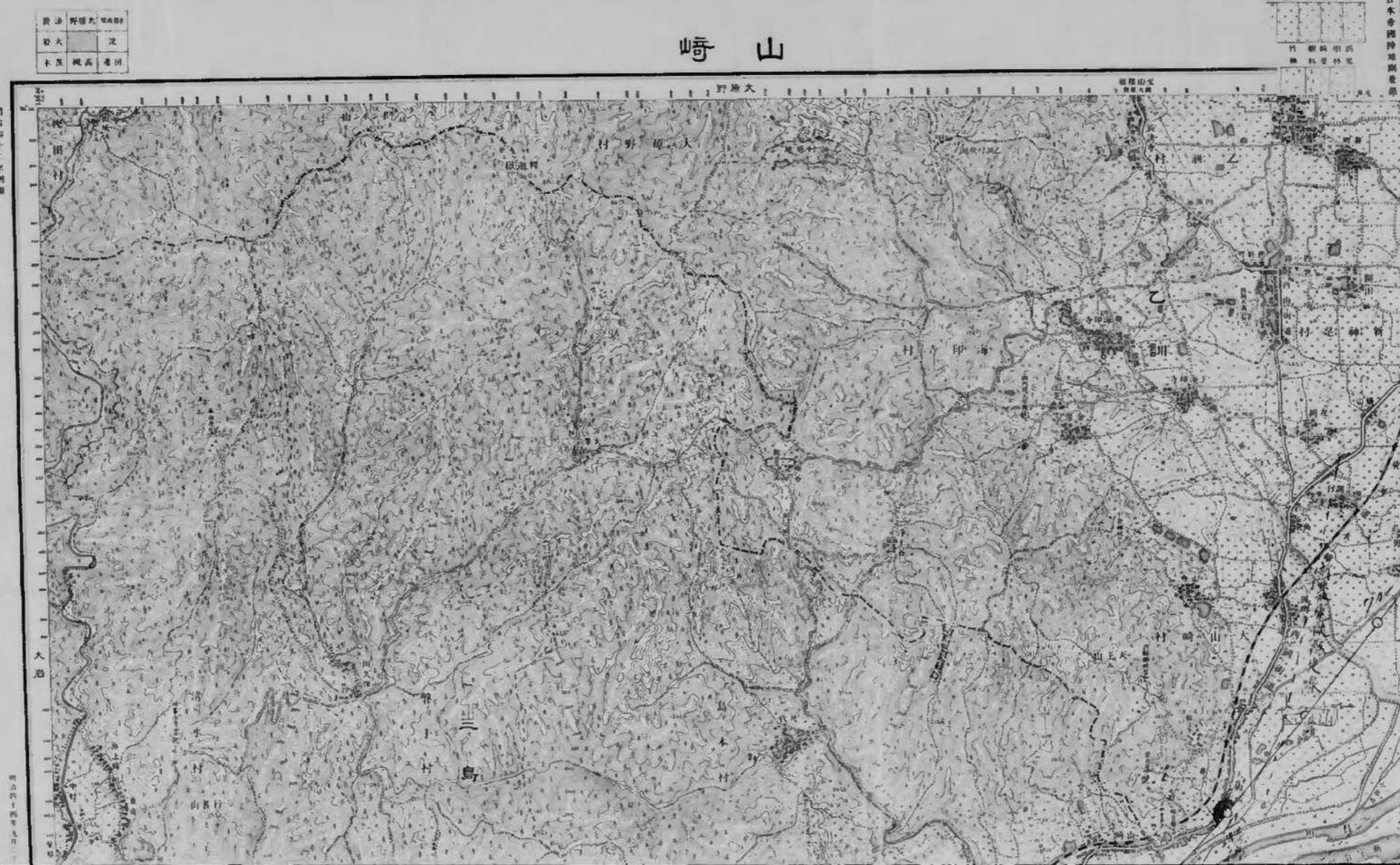
京都南部



めくれ
す

封筒在中物

山崎

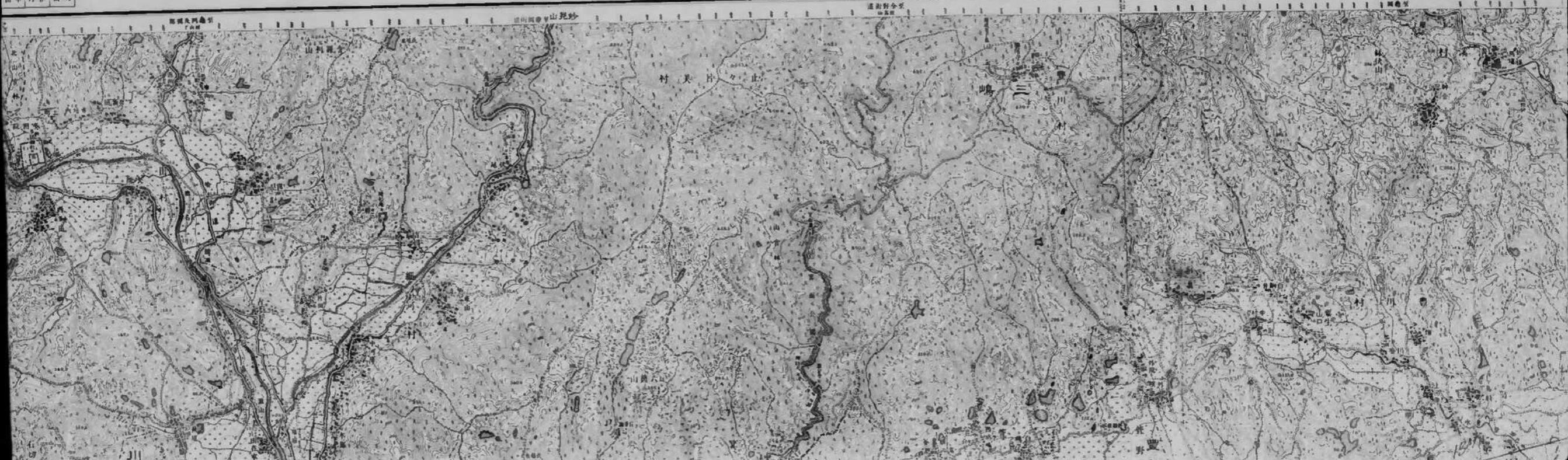




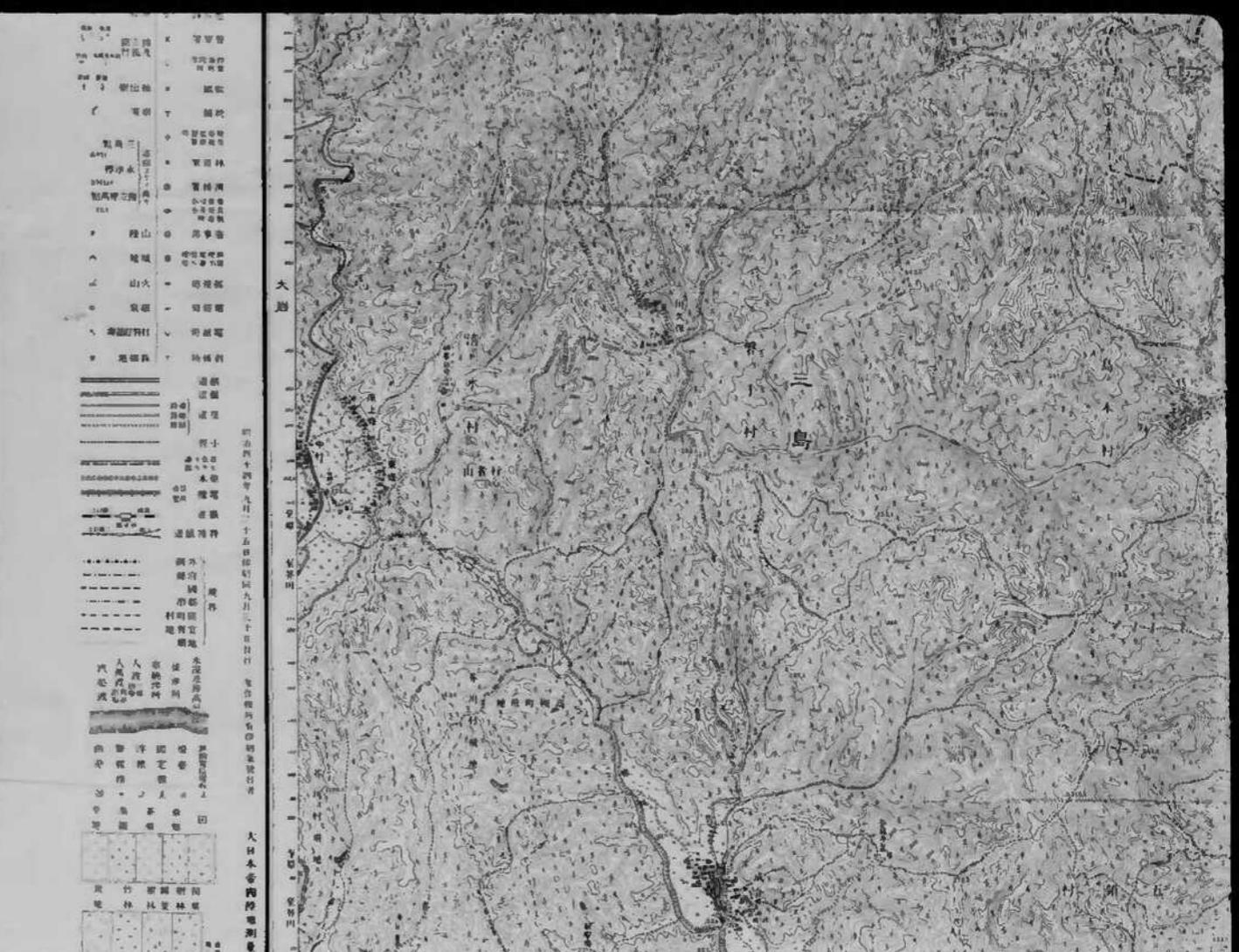
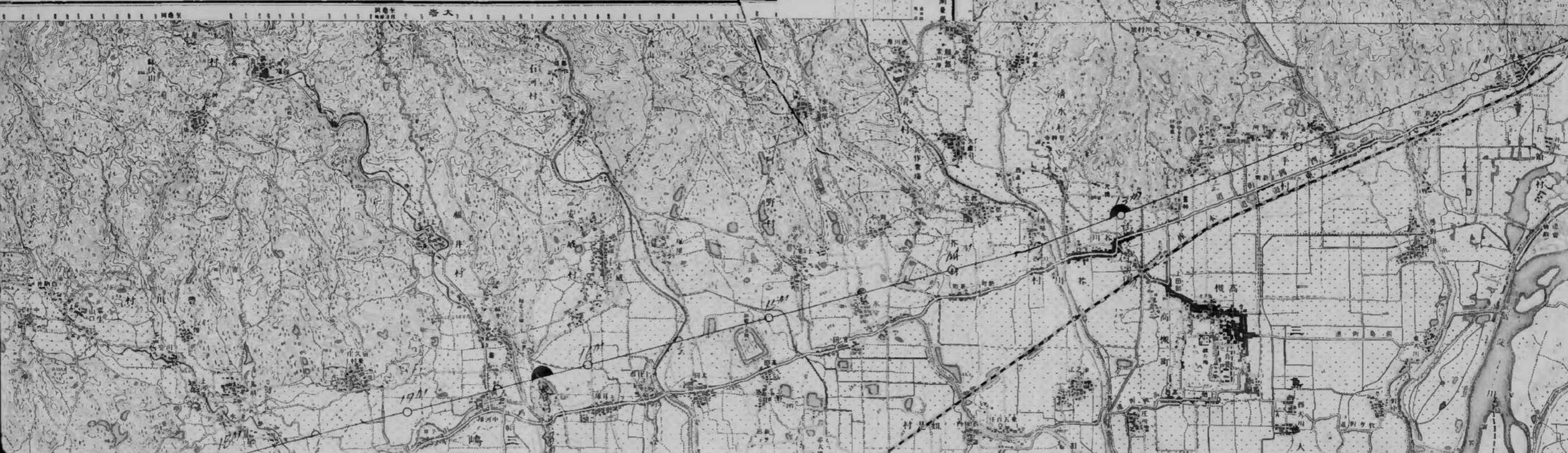
田 沢

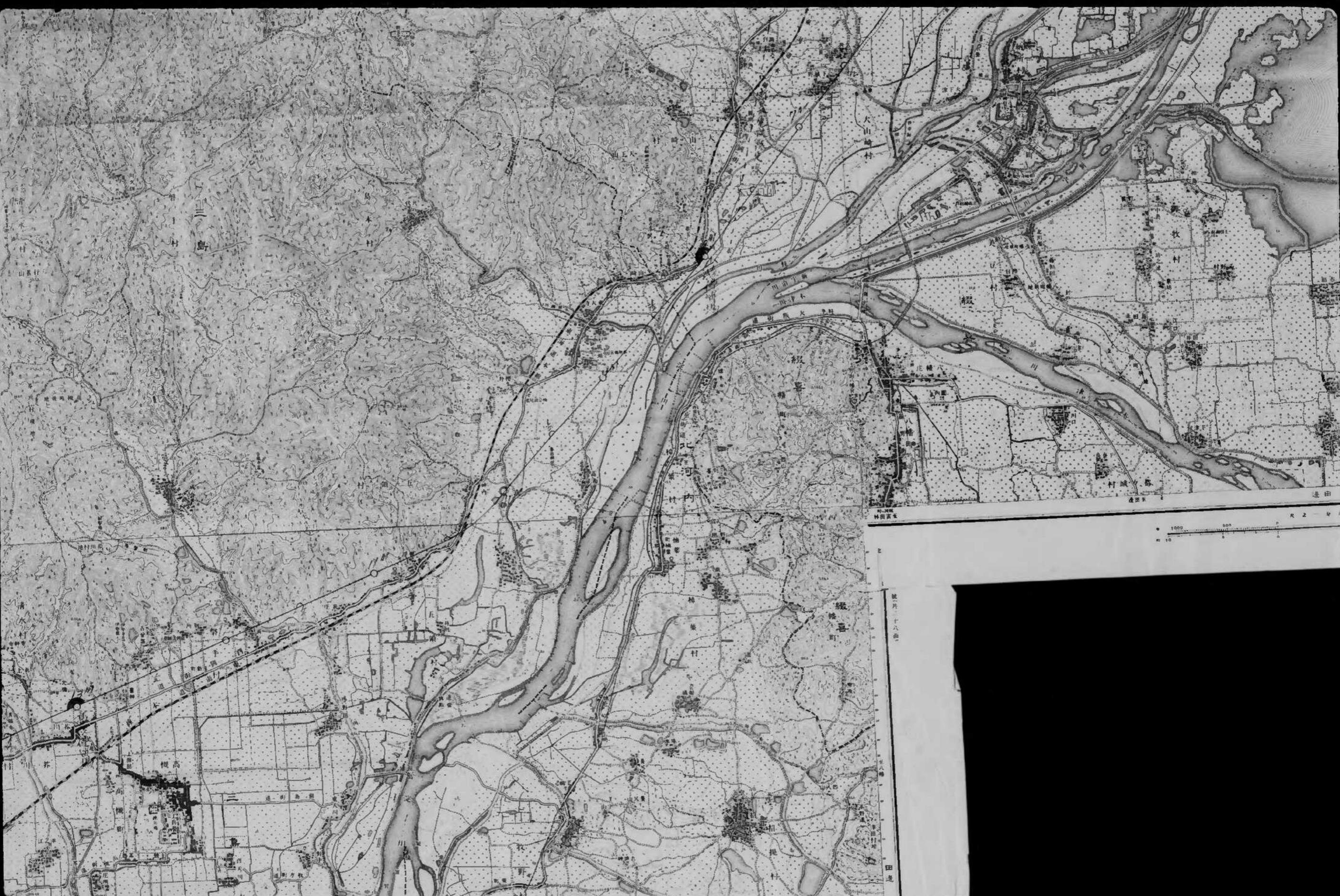
横濱 山見妙 静大
駿河 水道
山甲 丹伊 国次

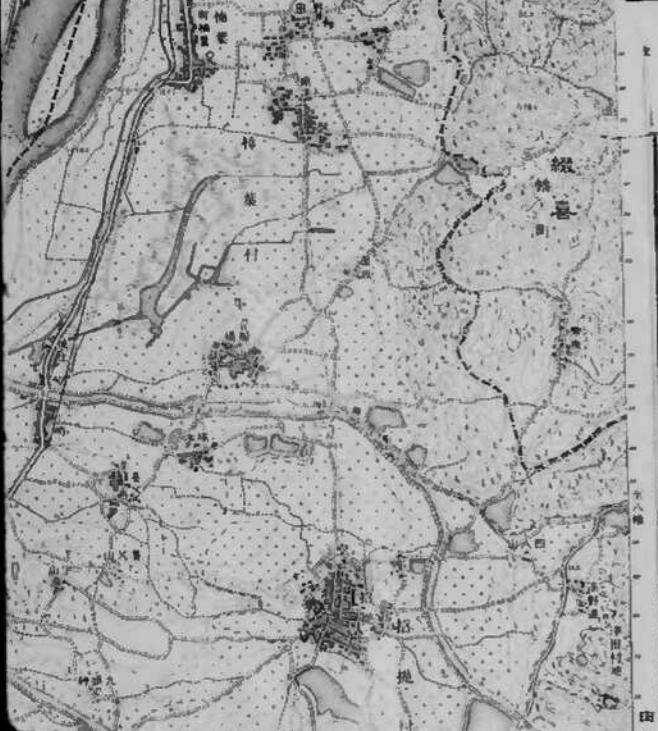
山見妙 駿河 水道
田道 静大
丹伊 国次 田道



茨木

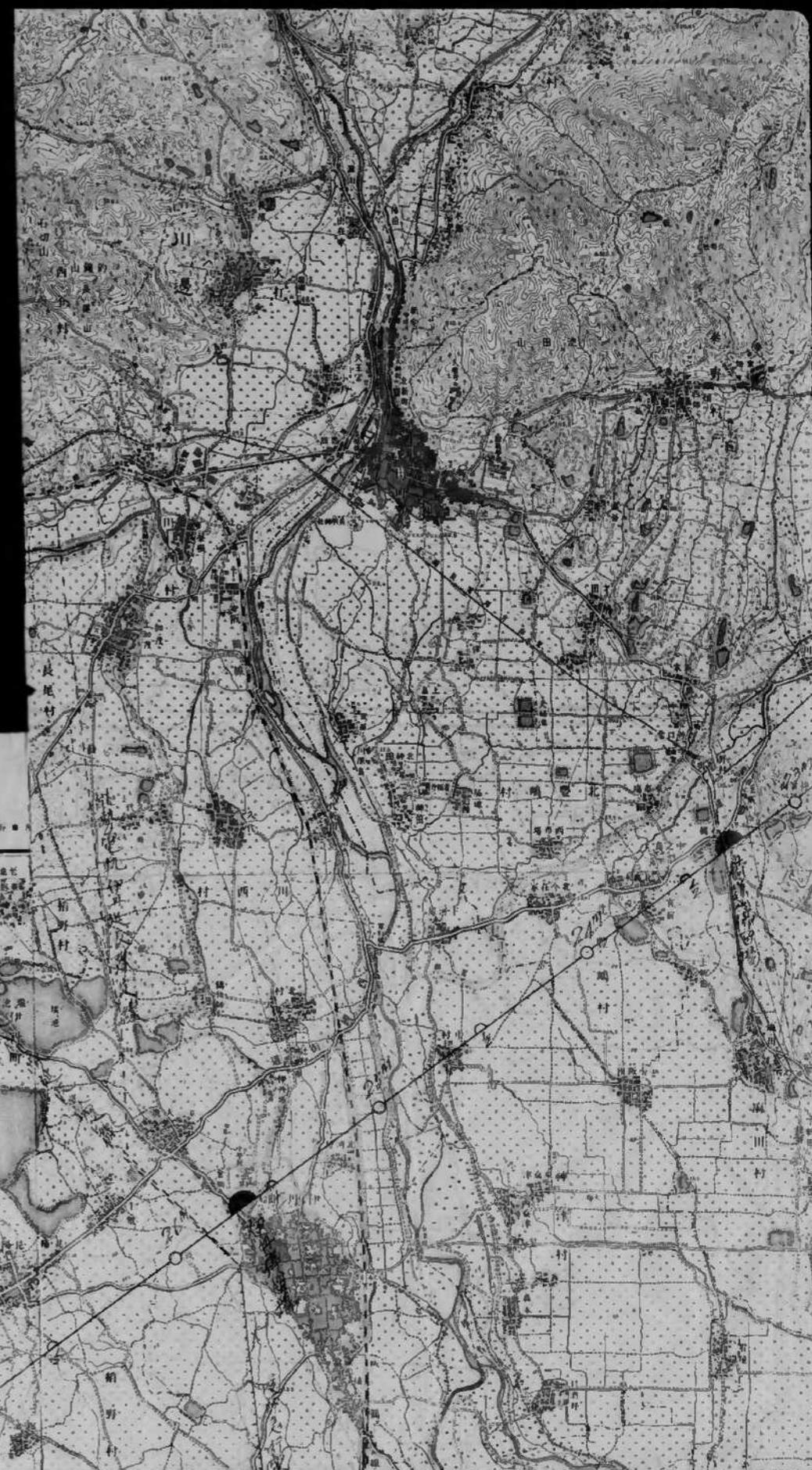
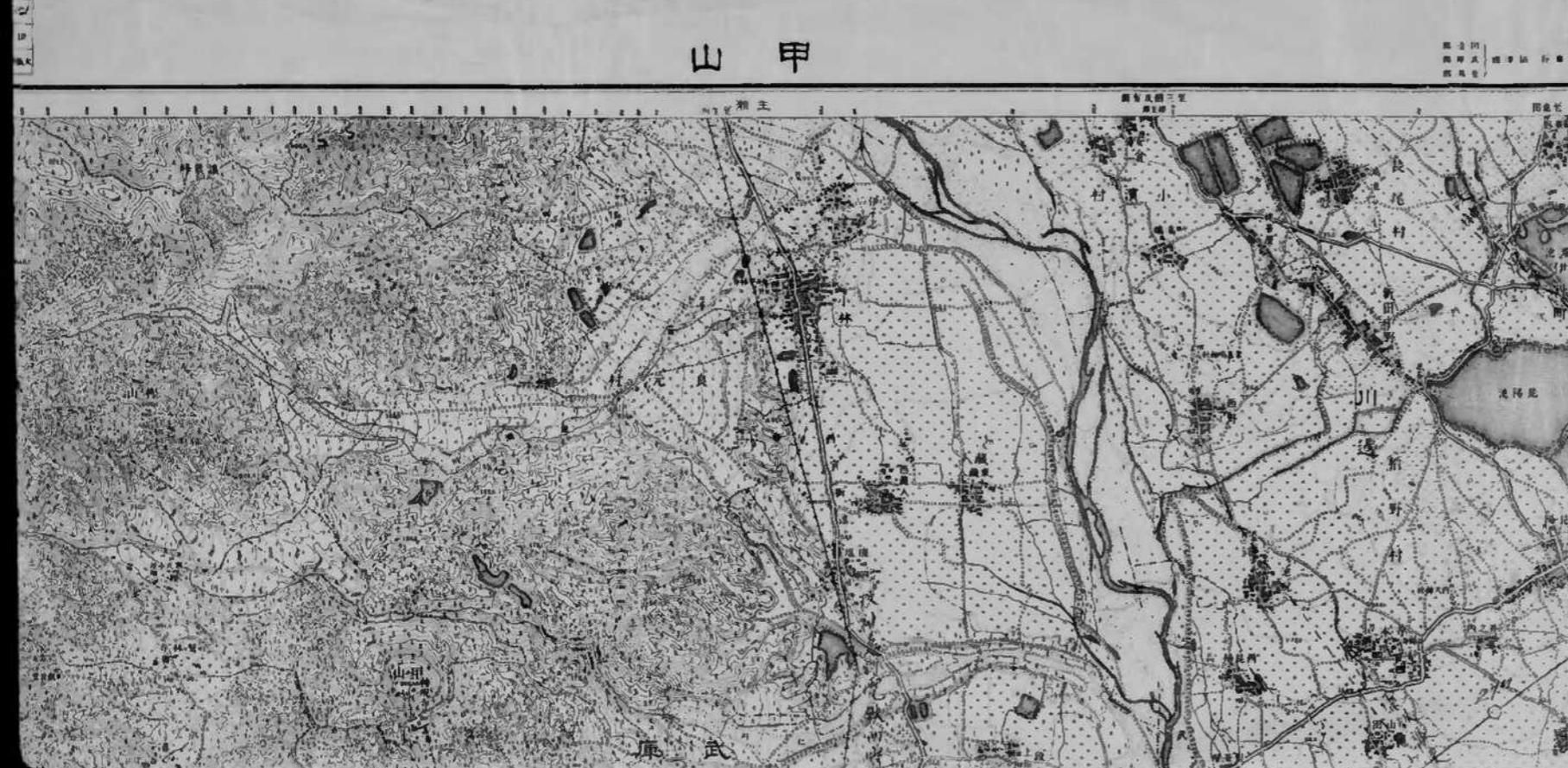


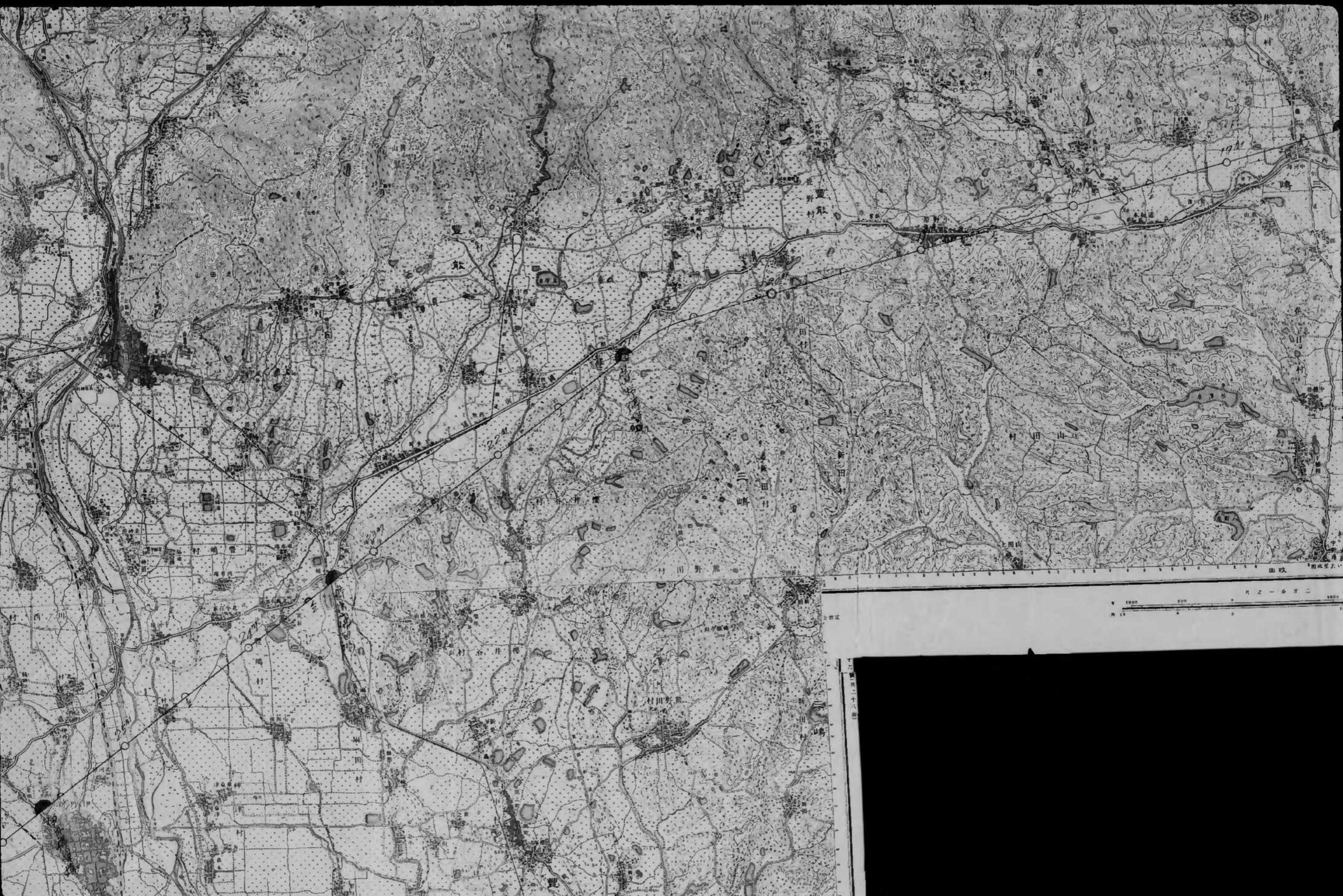


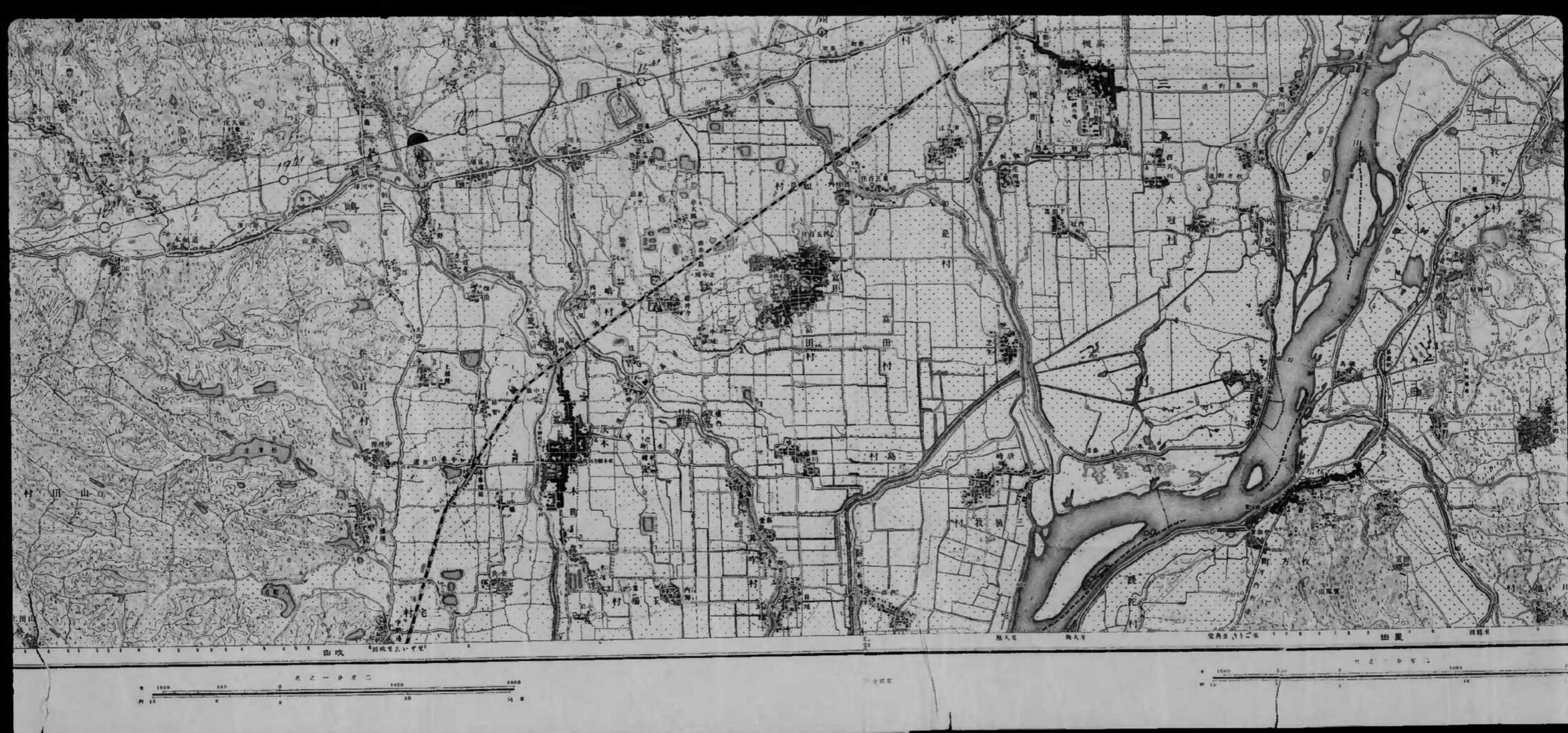


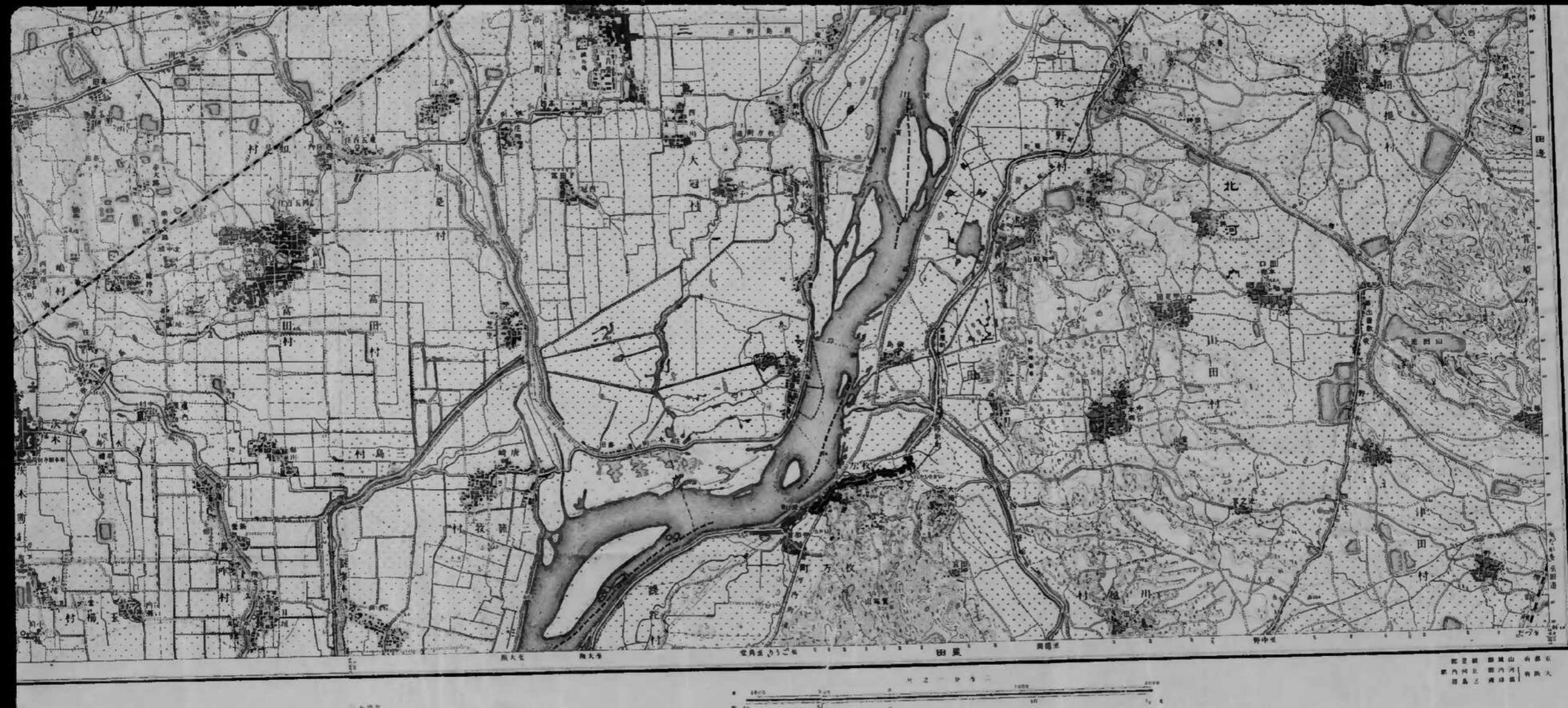
馬有



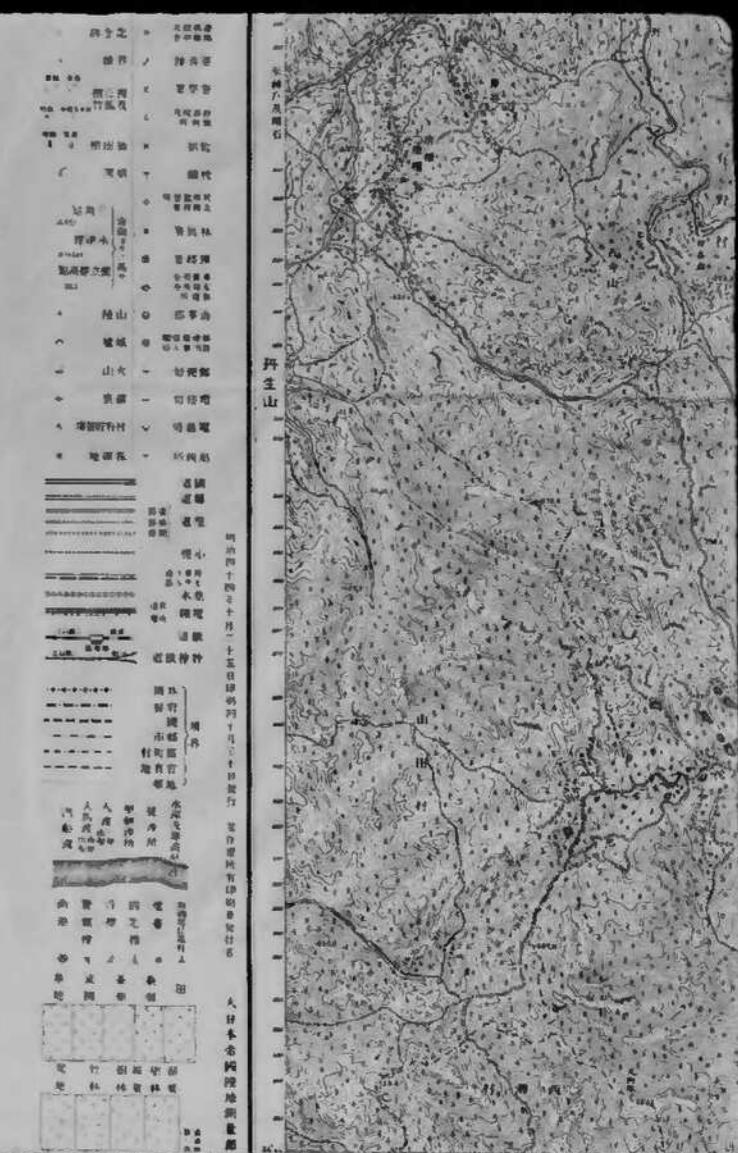
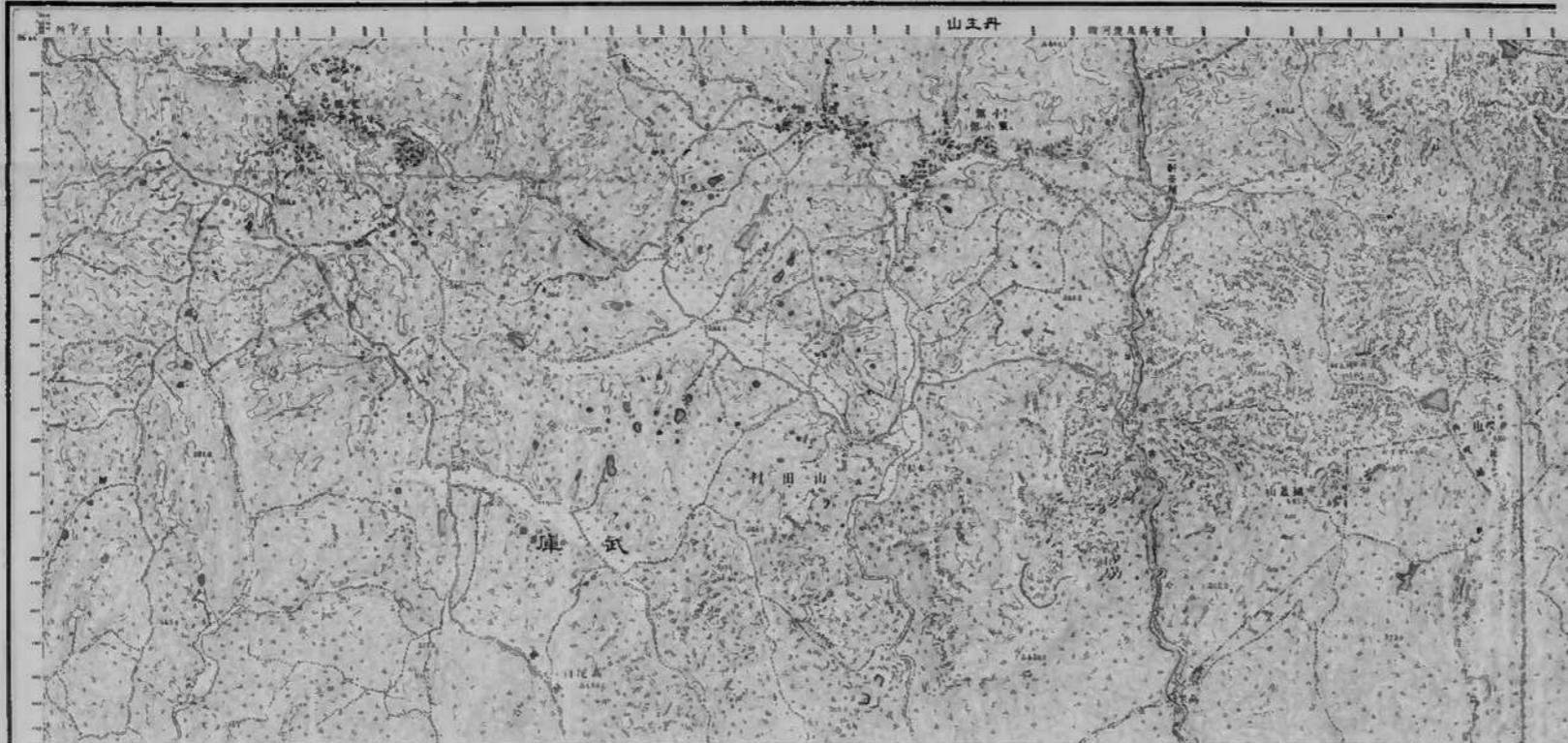






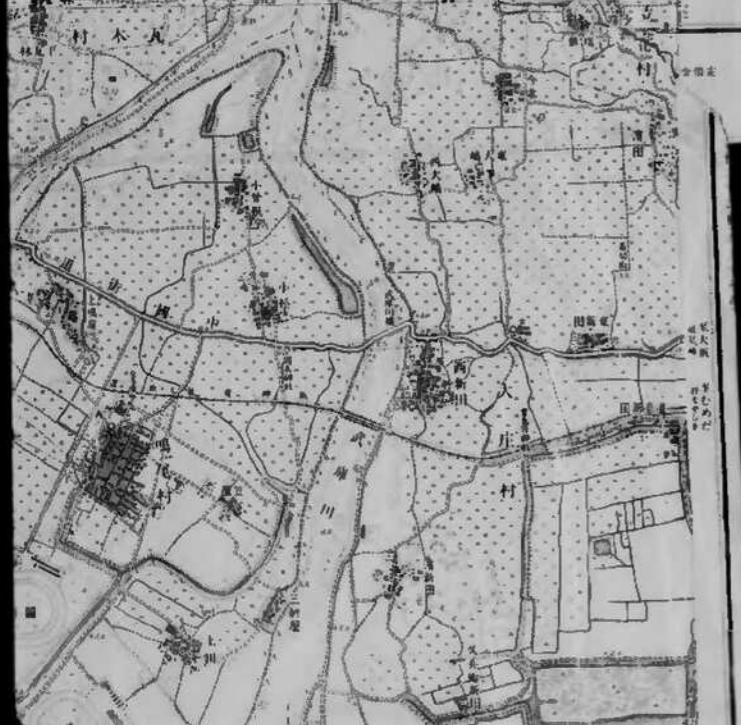


戸神









大阪 湾

凡例

埠頭場

捨

支

出入口

埋

大阪 湾

比例尺
1000 500 1000 1000 1000

北

1000 500 1000



京神急行
電氣鐵道
豫測綫斷面圖

封 簡 在 中 物

裏 面 あ り

電氣急行 神京鐵道 豫測縱斷面圖

縮尺 橫以壹叶為參照
縱以壹叶為百五拾尺



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

